

# 転入・転出に関するアンケート調査報告書（詳細版）

（調査機関：平成28年8月から平成29年7月）

平成29年10月

牛久市

経営企画部政策企画課

# 目次

I	調査の概要	5
II	調査結果（単純集計）	9
1	移動数と世帯当たり平均人数、移動前の地域、移動の時期（県内・県外・国外別、月別）	10
(1)	転入者数と世帯当たり平均人数、転入前の地域、転入の時期	10
(2)	転出者数と世帯当たり平均人数、転出前の地域、転出の時期	11
2	転入前・転出後の地域（県内市町村別・県外都道府県別・国外国別）	12
(1)	転入前の地域	12
(2)	転出後の地域	15
(3)	転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）	18
3	移動の理由（原因者数ベース）	20
(1)	転入理由	20
(2)	転出理由	22
(3)	転入超過数と転出超過数	24
4	移動の世代（原因者数ベース）	25
(1)	転入理由となった方（原因者）の数と世代	25
(2)	転出理由となった方（原因者）の数と世代	26
5	原因者の世代と移動者数（家族込総数ベース）	27
(1)	転入理由となった方の世代と移動者数	27
(2)	転出理由となった方の世代と移動者数	31
(3)	県内・県外の比較	35
6	転入後の地区・転出前の地区	37
(1)	転入後の地区	37
(2)	転出前の地区	38
(3)	転入超過数と転出超過数	39

7	移動後の家族構成（記入者数ベース）	40
(1)	転入後の家族構成	40
(2)	転出後の家族構成	41
(3)	県内と県外の比較	42
8	世帯主の職業（記入者数ベース）	43
(1)	転入者の世帯主の職業	43
(2)	転出者の世帯主の職業	44
(3)	転入超過数と転出超過数	45
9	移動先を選んだ理由（記入者数ベース）	47
(1)	転入先を選んだ理由	47
(2)	転出先を選んだ理由	49
10	自由記述	51
<b>Ⅲ</b>	<b>調査結果（詳細集計）</b>	<b>53</b>
1	近隣市町村間の移動（原因者数ベース）	54
2	就職による県外間移動（原因者数ベース）	55
3	転職による転出（原因者数ベース）	57
4	結婚による移動（原因者数ベース）	59
(1)	県内間移動	59
(2)	県外間移動	61
5	住宅購入による県内間移動（原因者数ベース）	63
6	中古住宅購入による転入（原因者数ベース）	64
7	親との同居・近居による転入（原因者数ベース）	65
(1)	転入理由（親との同居・近居）	65
(2)	転入先選択理由（親兄弟が近くにいる）	66



# I . 調査の概要

## I. 調査の概要

### (1) 調査の目的

牛久市への転入を促進し、転出を抑制するための政策・施策を検討、実践していくにあたり、転入者、転出者の属性や転入転出の理由等を収集・分析し、現状と解決すべき課題を把握するために実施するもの。

### (2) 調査対象者

牛久市に、転入届、または転出届を提出した方

### (3) 調査方法

市役所（支所も含む）にて転入届、または転出届を提出したかたへの任意の無記名アンケート

### (4) 調査期間

平成28年8月1日から平成29年7月31日まで

### (5) 調査対象数

2,432人（有効回答者 2,410人）

**(6) アンケートで把握された移動者数と実際の移動者数**

本アンケートの回収数およびアンケート記載内容により把握された移動者数、人口移動報告により把握している移動者数を比較した。月ごとのばらつきはあるものの、全移動者の約半数のデータを取得することが出来た。

移動月	転入者数(人)				転出者数(人)			
	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合(%) (A/B)	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合(%) (A/B)
平成28年 8月	103	157	295	53.2	75	104	269	38.7
平成28年 9月	63	90	248	36.3	97	139	229	60.7
平成28年10月	60	93	270	34.4	54	78	283	27.6
平成28年11月	78	116	219	53.0	84	106	225	47.1
平成28年12月	82	128	249	51.4	74	106	237	44.7
平成29年 1月	71	104	270	38.5	66	97	211	46.0
平成29年 2月	89	128	239	53.6	102	140	243	57.6
平成29年 3月	280	391	684	57.2	341	476	644	73.9
平成29年 4月	161	224	466	48.1	110	143	479	29.9
平成29年 5月	84	123	310	39.7	86	120	285	42.1
平成29年 6月	51	63	221	28.5	67	83	236	35.2
平成29年 7月	74	104	263	39.5	58	89	282	31.6
<b>合計</b>	<b>1,196</b>	<b>1,721</b>	<b>3,734</b>	<b>46.1</b>	<b>1,214</b>	<b>1,681</b>	<b>3,623</b>	<b>46.4</b>

**(7) 使用している用語の定義**

本アンケートでは、移動者について、「記入者」「原因者」「同伴者」「家族込総数」といった用語を使い、集計によって使い分けているが、その定義は次の通りである。

- 「記入者」：アンケートの記入者、窓口でアンケートに回答した方
- 「原因者」：「転勤」「結婚」など、転入・転出の理由となった方（人数は「記入者」と一致）
- 「同伴者」：「原因者」に伴って転入・転出した方
- 「家族込総数」：「原因者数」+「同伴者数」、一緒に移動した世帯人員数



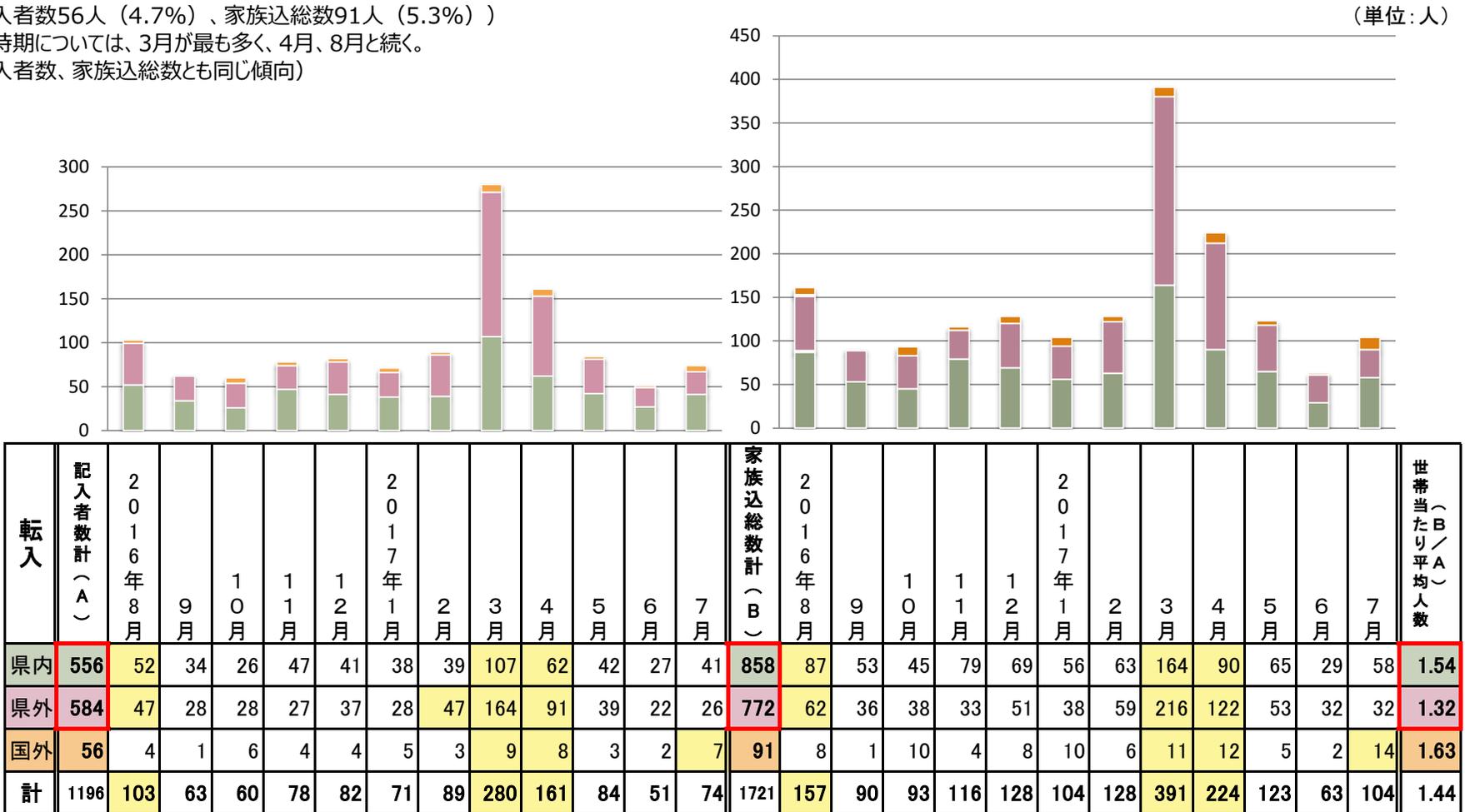
# Ⅱ. 調査結果

## (単純集計)

# 1 移動数と世帯当たり平均人数、移動前の地域、移動の時期（県内・県外・国外別、月別）

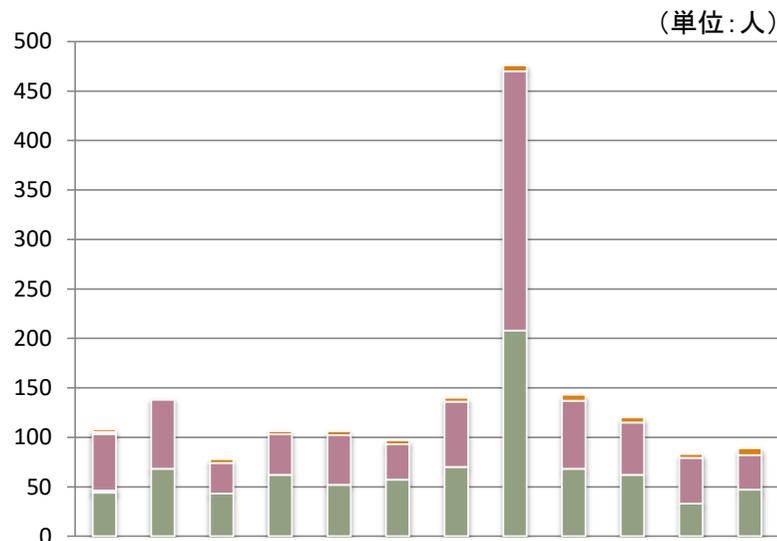
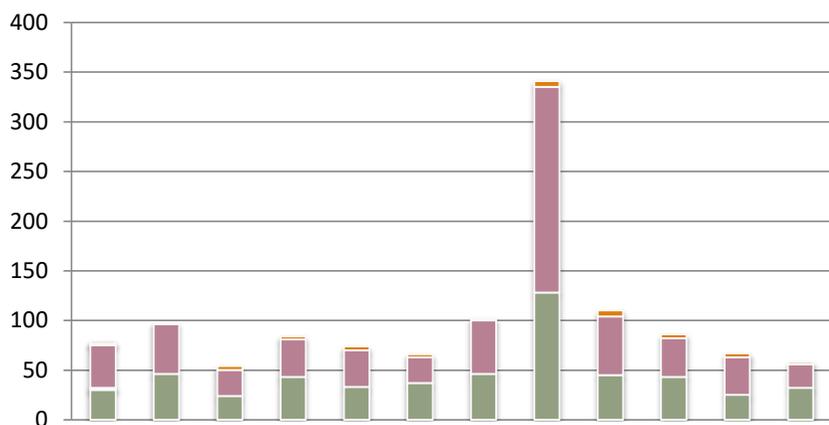
## (1) 転入者数と世帯当たり平均人数、転入前の地域、転入の時期

- ・アンケートに回答した方の数（記入者数）は1,196人で、同伴者を含んだ数（家族込総数）は1,721人。
- ・世帯当たり平均人数（家族込総数／記入者数）は1.44人、地域別では、国外（1.63人）、県内（1.54人）、県外（1.32人）の順である。
- ・記入者数では、県内からの転入よりも県外からの転入のほうが多いが、家族込総数では県内からの転入のほうが県外からの転入よりも多い。  
（記入者数1,196人のうち、県内が556人（46.4%）、県外が584人（48.8%）、家族込総数では、県内が858人（49.9%）、県外が772人（44.9%））
- ・国外からの転入者は少数である。  
（記入者数56人（4.7%）、家族込総数91人（5.3%））
- ・転入時期については、3月が最も多く、4月、8月と続く。  
（記入者数、家族込総数とも同じ傾向）



## (2) 転出者数と世帯当たり平均人数、転出前の地域、転出の時期

- アンケートに回答した方の数（記入者数）は、1,214人で、同伴者を含んだ数（家族込総数）は、1,681人。
- 世帯当たり平均人数（家族込総数／記入者数）は1.38人、地域別では、県内（1.53人）、県外（1.27人）、国内（1.24人）の順である。
- 記入者数では、県内への転出よりも県外への転出のほうが多いが、家族込総数では、ほぼ同数である。  
（記入者1,214人のうち、県内が532人（43.8%）、県外が641人（52.8%）。家族込では、県内が814人（48.4%）、県外が816人（48.5%））
- 国外への転出者は少数である。  
（記入者41人（3.4%）、家族込51人（3.0%））
- 転出時期については、3月が最も多く、4月、2月と続く。  
（記入者数、家族込総数とも同じ傾向）



転出	記入者数計（A）	2016年												家族込総数計（B）	2017年												世帯当たり平均人数 (B/A)
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
県内	532	30	46	24	43	33	37	46	128	45	43	25	32	814	44	68	43	62	52	57	70	208	68	62	33	47	1.53
県外	641	43	50	26	38	37	26	54	207	59	39	38	24	816	57	70	31	41	50	36	66	262	69	53	46	35	1.27
国外	41	2	1	4	3	4	3	2	6	6	4	4	2	51	3	1	4	3	4	4	4	6	6	5	4	7	1.24
計	1214	75	97	54	84	74	66	102	341	110	86	67	58	1681	104	139	78	106	106	97	140	476	143	120	83	89	1.38

## 2 転入前・転出後の地域（県内市町村別・県外都道府県別・国外国別）

### (1) 転入前の地域

#### ① 記入者数ベース

- ・ 県内からの転入では、上位から〔つくば市〕、〔土浦市〕、〔龍ヶ崎市〕、〔阿見町〕となっており、隣接した4市町で過半数を占める。  
（つくば市22.7%、土浦市12.9%、龍ヶ崎市9.5%、阿見町7.4%、合計52.5%）
- ・ 県外からの転入では、〔東京都〕、〔千葉県〕、〔神奈川県〕、〔埼玉県〕と東京圏からの転入で約6割を占める。  
（東京都20.2%、千葉県19.7%、神奈川県9.6%、埼玉県9.4%、合計58.9%）
- ・ 国外からの転入では、1位が〔中国〕からで10人、2位が〔アメリカ〕からで8人となっている。

（単位：人、割合は%）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42		
県内から転入	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	水戸市	稲敷市	取手市	石岡市	美浦村	常総市	守谷市	つくばみらい市	ひたちなか市	かすみがうら市	日立市	神栖市	筑西市	常陸大宮市	高萩市	小美玉市	河内町	利根町	茨城町	笠間市	鉾田市	行方市	大洗町	大子町	坂東市	桜川市	東海村	古河市	那珂市	北茨城市	鹿嶋市	潮来市	常陸太田市	境町	八千代町	城里町	結城市	無回答		
556	126	72	53	41	33	24	24	17	16	13	11	9	8	8	8	7	7	6	6	6	5	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	4	
割合	22.7	12.9	9.5	7.4	5.9	4.3	4.3	3.1	2.9	2.3	2.0	1.6	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.7	
県外から転入	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	北海道	栃木県	福島県	大阪府	宮城県	兵庫県	群馬県	愛知県	新潟県	山形県	青森県	滋賀県	福岡県	鹿児島県	静岡県	京都府	大分県	長野県	三重県	山梨県	熊本県	広島県	岩手県	秋田県	福井県	岐阜県	佐賀県	岡山県	徳島県	高知県	愛媛県	山口県	石川県	和歌山県	鳥取県	島根県	宮崎県	沖縄県	無回答	
584	118	115	56	55	20	20	15	15	14	13	11	10	8	8	7	7	7	7	7	6	6	6	5	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2
割合	20.2	19.7	9.6	9.4	3.4	3.4	2.6	2.6	2.4	2.2	1.9	1.7	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.9	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	
国外から転入	中国	アメリカ	オーストラリア	インドネシア	ドイツ	ブラジル	イギリス	シンガポール	スペイン	タイ	フィリピン	イタリア	台湾	ニュージーランド	フランス	韓国	カンボジア	メキシコ	ラオス	スリランカ	ネパール	マレーシア																						
56	10	8	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1																						
割合	17.9	14.3	7.1	5.4	5.4	5.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8																							

(1) 転入前の地域

② 家族込総数ベース

- ・ 県内からの転入では、上位から〔つくば市〕、〔土浦市〕、〔龍ヶ崎市〕、〔阿見町〕となっており、隣接した4市町で過半数を占める。  
(つくば市23.4%、土浦市14.2%、龍ヶ崎市9.9%、阿見町7.5%、合計55.0%)
- ・ 県外からの転入では、〔東京都〕、〔千葉県〕、〔埼玉県〕、〔神奈川県〕と東京圏からの転入で約6割を占める。  
(東京都20.9%、千葉県19.4%、埼玉県10.0%、神奈川県9.6%、合計59.8%)
- ・ 国外からの転入では、1位が〔中国〕と〔アメリカ〕で、それぞれ12人となっている。

(単位:人、割合は%)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
県内から転入	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	水戸市	稲敷市	取手市	石岡市	美浦村	常総市	守谷市	つくばみらい市	ひたちなか市	かすみがうら市	小美玉市	日立市	神栖市	常陸大宮市	筑西市	高萩市	鉾田市	利根町	河内町	行方市	笠間市	茨城町	潮来市	大子町	大洗町	坂東市	東海村	桜川市	那珂市	境町	古河市	北茨城市	鹿嶋市	結城市	八千代町	常陸太田市	城里町	無回答	
858	201	122	85	64	48	45	40	27	26	21	17	17	11	11	11	9	9	7	7	7	6	6	6	5	5	5	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	4	
割合	23.4	14.2	9.9	7.5	5.6	5.2	4.7	3.1	3.0	2.4	2.0	2.0	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5		
県外から転入	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	栃木県	北海道	福島県	大阪府	群馬県	兵庫県	宮城県	新潟県	山形県	愛知県	滋賀県	福岡県	長野県	京都府	大分県	鹿児島県	山梨県	青森県	静岡県	福井県	三重県	佐賀県	熊本県	広島県	岩手県	秋田県	岐阜県	鳥取県	宮崎県	岡山県	徳島県	高知県	愛媛県	山口県	石川県	和歌山県	島根県	沖縄県	無回答
772	161	150	77	74	26	24	19	18	17	17	16	13	13	13	12	12	10	10	8	8	7	7	7	6	6	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2
割合	20.9	19.4	10.0	9.6	3.4	3.1	2.5	2.3	2.2	2.2	2.1	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.3	1.3	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	
国外から転入	中国	アメリカ	ブラジル	オーストラリア	ドイツ	スペイン	台湾	シンガポール	タイ	フィリピン	インドネシア	ニュージーランド	フランス	イギリス	イタリア	ラオス	スリランカ	ネパール	韓国	カンボジア	メキシコ	マレーシア																					
91	12	12	8	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1																					
割合	13.2	13.2	8.8	6.6	6.6	6.6	5.5	5.5	4.4	4.4	3.3	3.3	3.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	1.1	1.1	1.1	1.1																					

(1) 転入前の地域

③ 世帯あたり平均人数（家族込総数／記入者数）

- ・ 転入数（家族込総数ベース）の上位10市町村および上位10都道府県の世帯あたり平均人数を算出した。
- ・ 県内をみると、転入数の多い市町村は、県内全体よりも世帯あたり平均人数が多い傾向となっている（P10参照）。
- ・ 県外では、特徴的な傾向はみられなかった。

（下表赤線は平均ライン）

（単位：人）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
県内転入平均	稲敷市	土浦市	取手市	美浦村	常総市	龍ヶ崎市	つくば市	石岡市	阿見町	水戸市
1.543	1.88	1.69	1.67	1.63	1.62	1.60	1.60	1.59	1.56	1.455
県外転入平均	群馬県	埼玉県	東京都	神奈川県	兵庫県	千葉県	栃木県	福島県	北海道	大阪府
1.322	1.55	1.40	1.36	1.32	1.31	1.30	1.30	1.27	1.20	1.20

(2) 転出後の地域

① 記入者数ベース

- ・ 県内への転出では、上位から〔つくば市〕、〔土浦市〕、〔龍ヶ崎市〕となっており、これら3市で過半数を占める。  
(つくば市26.3%、土浦市13.0%、龍ヶ崎市11.3%、合計50.6%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔東京都〕、〔千葉県〕、〔神奈川県〕、〔埼玉県〕となっており、東京圏への転出で約7割を占める。  
(東京都27.1%、23.7%、神奈川県10.1%、埼玉県10.0%、合計71.0%)
- ・ 国外への転出では、〔アメリカ〕へ7人、次に〔オーストラリア〕へ6人となっている。

(単位:人、割合は%)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
県内へ転出	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	取手市	阿見町	水戸市	稲敷市	つくばみらい市	美浦村	かすみがうら市	守谷市	神栖市	ひたちなか市	日立市	下妻市	北茨城市	利根町	行方市	鹿嶋市	石岡市	境町	大子町	桜川市	常陸大宮市	坂東市	笠間市	古河市	常総市	河内町	筑西市	鉾田市	茨城町	那珂市	高萩市	小美玉市	八千代町	常陸太田市	城里町	東海村	無回答	
532	140	69	60	34	33	23	19	12	12	12	11	10	10	8	7	5	5	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	5	
割合	26.3	13.0	11.3	6.4	6.2	4.3	3.6	2.3	2.3	2.3	2.1	1.9	1.9	1.5	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.9		
県外へ転出	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	大阪府	栃木県	福島県	兵庫県	愛知県	群馬県	北海道	長野県	福岡県	静岡県	宮城県	京都府	山口県	新潟県	広島県	秋田県	三重県	岡山県	宮崎県	青森県	石川県	佐賀県	岐阜県	熊本県	大分県	香川県	山形県	福井県	山梨県	滋賀県	和歌山県	鳥取県	徳島県	高知県	沖縄県	岩手県	島根県
641	174	152	65	64	16	16	13	13	12	11	11	9	9	8	8	7	5	5	5	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
割合	27.1	23.7	10.1	10.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.9	1.7	1.7	1.4	1.4	1.2	1.2	1.1	0.8	0.8	0.8	0.6	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
国外へ転出	アメリカ	オーストラリア	ドイツ	ベトナム	中国	タイ	フランス	韓国	イギリス	ミャンマー	フィリピン	ニュージーランド	トルコ	台湾	ジブチ	カナダ	インドネシア	インド																							
41	7	6	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1																								
割合	17.1	14.6	9.8	7.3	7.3	7.3	4.9	4.9	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4																								

(2) 転出後の地域

② 家族込総数ベース

- ・ 県内への転出では、上位から〔つくば市〕、〔龍ヶ崎市〕、〔土浦市〕、〔阿見町〕となっており、これら4市町で6割近くを占める。  
(つくば市27.9%、龍ヶ崎市12.3%、土浦市11.7%、阿見町6.5%、合計58.4%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔東京都〕、〔千葉県〕、〔神奈川県〕、〔埼玉県〕となっており、東京圏への転出で約7割を占める。  
(東京都25.0%、千葉県24.8%、神奈川県9.6%、埼玉県9.1%、合計68.5%)
- ・ 国外への転出では、〔アメリカ〕、〔ドイツ〕へ9人となっている。

(単位:人、割合は%)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	
県内へ転出	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	阿見町	取手市	水戸市	稲敷市	守谷市	かすみがうら市	美浦村	神栖市	つくばみらい市	日立市	ひたちなか市	下妻市	行方市	北茨城市	鹿嶋市	石岡市	境町	大子町	利根町	笠間市	常陸大宮市	茨城市	桜川市	鉾田市	坂東市	古河市	東海村	常総市	河内町	筑西市	那珂市	城里町	高萩市	小美玉市	八千代町	常陸太田市	無回答		
	814	227	100	95	53	47	31	28	25	19	15	14	13	13	12	11	11	10	9	8	7	7	6	6	5	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	6
割合	27.9	12.3	11.7	6.5	5.8	3.8	3.4	3.1	2.3	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.7		
県外へ転出	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	栃木県	兵庫県	大阪府	北海道	福島県	愛知県	群馬県	静岡県	京都府	長野県	福岡県	岡山県	宮城県	山口県	広島県	新潟県	宮崎県	秋田県	三重県	石川県	佐賀県	青森県	岐阜県	大分県	香川県	熊本県	沖縄県	山形県	福井県	山梨県	滋賀県	和歌山県	鳥取県	徳島県	高知県	岩手県	島根県	
	816	204	202	78	75	23	23	22	22	17	14	12	11	10	9	9	9	8	8	8	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
割合	25.0	24.8	9.6	9.2	2.8	2.8	2.7	2.7	2.1	1.7	1.5	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
国外へ転出	アメリカ	ドイツ	オーストラリア	タイ	ベトナム	中国	インド	フランス	韓国	イギリス	ミャンマー	フィリピン	ニュージーランド	トルコ	台湾	ジブチ	カナダ	インドネシア																								
	51	9	9	6	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1																								
割合	17.6	17.6	11.8	7.8	5.9	5.9	5.9	3.9	3.9	3.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																									

(2) 転出後の地域

③ 世帯あたり平均人数（家族込総数／記入者数）

- ・ 転出数（家族込総数ベース）の上位10市町村および上位10都道府県の世帯当たり平均人数を算出した。
- ・ 県内をみると、県内全体と比較して、守谷の世帯当たり平均人数が突出して多く、隣接市町村でも多い傾向がある（P11参照）。
- ・ 県外では、特徴的な傾向はみられなかった。

（下表赤線は平均ライン）

（単位：人）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
県内転出平均	守谷市	龍ヶ崎市	つくば市	阿見町	かすみがうら市	稲敷市	取手市	土浦市	水戸市	美浦村
1.53	2.27	1.67	1.62	1.61	1.58	1.47	1.38	1.38	1.35	1.25
県外転出平均	北海道	兵庫県	栃木県	大阪府	千葉県	福島県	神奈川県	東京都	埼玉県	愛知県
1.27	2.00	1.77	1.44	1.38	1.33	1.31	1.20	1.17	1.17	1.17

### (3) 転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）

#### ① 県内

- ・ 県内の市町村間の転入超過・転出超過の状況は以下の通りである。
- ・ 全体では44人の転入超過であった。
- ・ 転入超過地域をみると、上位から土浦市、石岡市、常総市、稲敷市、水戸市となっている。
- ・ 転出超過地域をみると、上位からつくば市、龍ヶ崎市、下妻市、かすみがうら市、北茨城市、守谷市となっている。
- ・ 隣接市町村をみると、土浦市、稲敷市、阿見町では転入超過、つくば市、龍ヶ崎市では転出超過である。

(単位:人)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
転入超過地域	土浦市	石岡市	常総市	稲敷市	水戸市	阿見町	美浦村	小美玉市	高萩市	潮来市	筑西市	大洗町	河内町	つくばみらい市	常陸大宮市	鉾田市	結城市			合計
人数	27	19	19	17	17	11	11	10	6	5	5	4	4	4	2	2	1			164

転出超過地域	つくば市	龍ヶ崎市	下妻市	かすみがうら市	北茨城市	守谷市	鹿嶋市	取手市	行方市	神栖市	境町	日立市	大子町	笠間市	古河市	桜川市	城里町	ひたちなか市	無回答	合計
人数	26	15	11	8	8	8	7	7	6	5	5	4	3	1	1	1	1	1	2	120

転入超過数
44

### (3) 転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）

#### ② 県外

- ・ 県外の都道府県間の転入超過・転出超過の状況は以下の通りである。
- ・ 全体では44人の転出超過であった。
- ・ 転入超過地域をみると、上位から山形県、滋賀県、宮城県、鹿児島県、新潟県となっている。
- ・ 転出超過地域をみると、千葉県と東京都の転出超過数が多い。
- ・ **東京圏をみると、転入超過は埼玉県のみで、千葉県、東京都、神奈川県で転出超過となっている。**

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
転入超過地域	山形県	滋賀県	宮城県	鹿児島県	新潟県	山梨県	群馬県	大分県	福井県	青森県	栃木県	福岡県	山口県	愛媛県	岩手県	熊本県	埼玉県	三重県	福島県	北海道	高知県	長野県	鳥取県	島根県	徳島県	無回答	合計
人数	12	11	8	8	8	6	5	5	5	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	101

転出超過地域	千葉県	東京都	山口県	岡山県	兵庫県	広島県	神奈川県	静岡県	大阪府	香川県	宮崎県	石川県	沖縄県	島根県	愛知県	秋田県	合計
人数	52	43	8	7	6	4	4	4	4	3	3	3	1	1	1	1	145

転出超過数
44

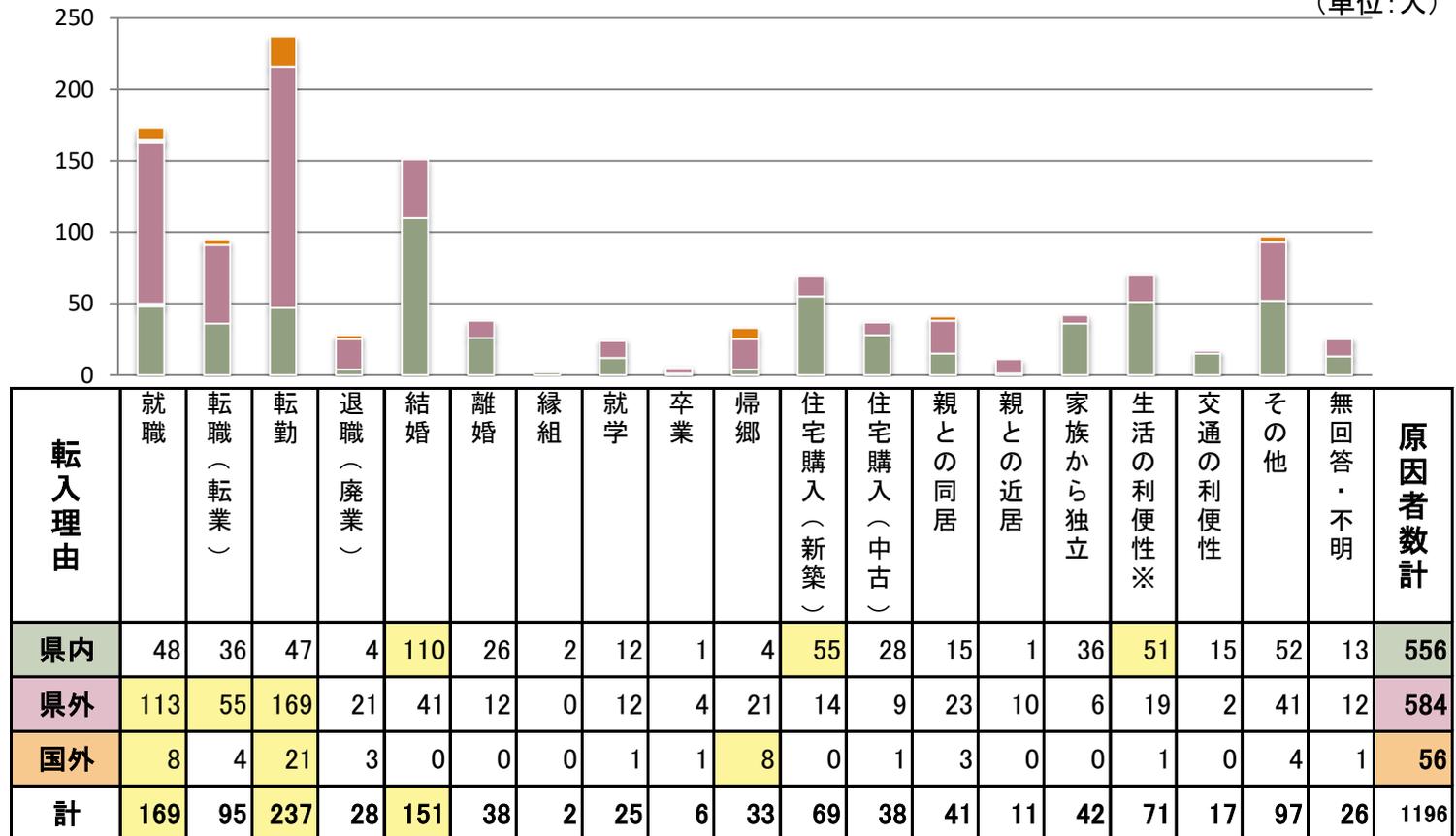
### 3 移動の理由（原因者数ベース）

#### (1) 転入理由

##### ① 県内・県外・国外別

- ・ 転入者全体では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔結婚〕となっており、これらで全体の半数近くを占める。  
（転勤19.8%、就職14.1%、結婚12.6%、合計46.6%）
  - ・ 県内からの転入では、上位から〔結婚〕、〔住宅購入（新築）〕、〔生活の利便性〕となっており、これらで全体の4割近くを占める。  
（結婚19.8%、住宅購入9.9%、生活の利便性9.2%、合計38.8%）
  - ・ 県外からの転入では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔転職（転業）〕となっており、これらで全体の6割近くを占める。  
（転勤28.9%、就職19.3%、転職（転業）9.4%、合計57.7%）
- 国外からの転入では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔帰郷〕となっており、これらで全体の7割近くを占める。  
（転勤37.5%、就職14.3%、帰郷14.3%、合計66.1%）

（単位：人）



※生活の利便性…買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

(1) 転入理由

② 月別

- ・ 転入理由の1位となっている〔転勤〕は、4月が最も多く、3月が続く。
- ・ 2位の〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 3位の〔結婚〕は、3月が最も多く、8月が続く。

転入時期	原 因 者 数 (人)	月 別 ／ 年 間 原 因 者 数	転入理由																		
			就 職	転 職 ( 転 業 )	転 勤	退 職 ( 廃 業 )	結 婚	離 婚	縁 組	就 学	卒 業	帰 郷	住 宅 購 入 ( 新 築 )	住 宅 購 入 ( 中 古 )	親 と の 同 居	親 と の 近 居	家 族 か ら 独 立	生 活 の 利 便 性 ※	交 通 の 利 便 性	そ の 他	無 回 答 ・ 不 明
2016年8月	103	8.6%	6	10	14	3	21	1	1	1	0	4	8	2	4	0	5	7	2	13	1
9月	63	5.3%	6	2	17	1	10	3	0	0	0	0	10	0	1	1	3	4	0	5	0
10月	60	5.0%	3	6	17	0	7	3	0	1	0	2	4	2	2	0	2	3	0	6	2
11月	78	6.5%	6	8	9	0	17	4	1	1	0	1	7	2	1	1	4	5	1	5	5
12月	82	6.9%	4	4	14	4	9	6	0	4	0	5	6	1	3	0	1	9	2	8	2
2017年1月	71	5.9%	3	6	9	4	10	4	0	1	1	4	3	3	1	0	3	6	1	10	2
2月	89	7.4%	5	10	16	0	12	1	0	0	0	4	6	4	6	1	3	8	3	7	3
3月	280	23.4%	88	24	45	4	26	6	0	12	2	5	12	11	6	4	3	6	1	23	2
4月	161	13.5%	23	7	63	6	14	6	0	4	3	2	5	4	5	1	3	5	1	5	4
5月	84	7.0%	17	7	14	3	13	1	0	1	0	2	4	1	3	0	4	6	0	7	1
6月	51	4.3%	4	8	2	1	1	2	0	0	0	2	1	3	4	3	5	7	3	3	2
7月	74	6.2%	4	3	17	2	11	1	0	0	0	2	3	5	5	0	6	5	3	5	2
計	1196	100.0%	169	95	237	28	151	38	2	25	6	33	69	38	41	11	42	71	17	97	26

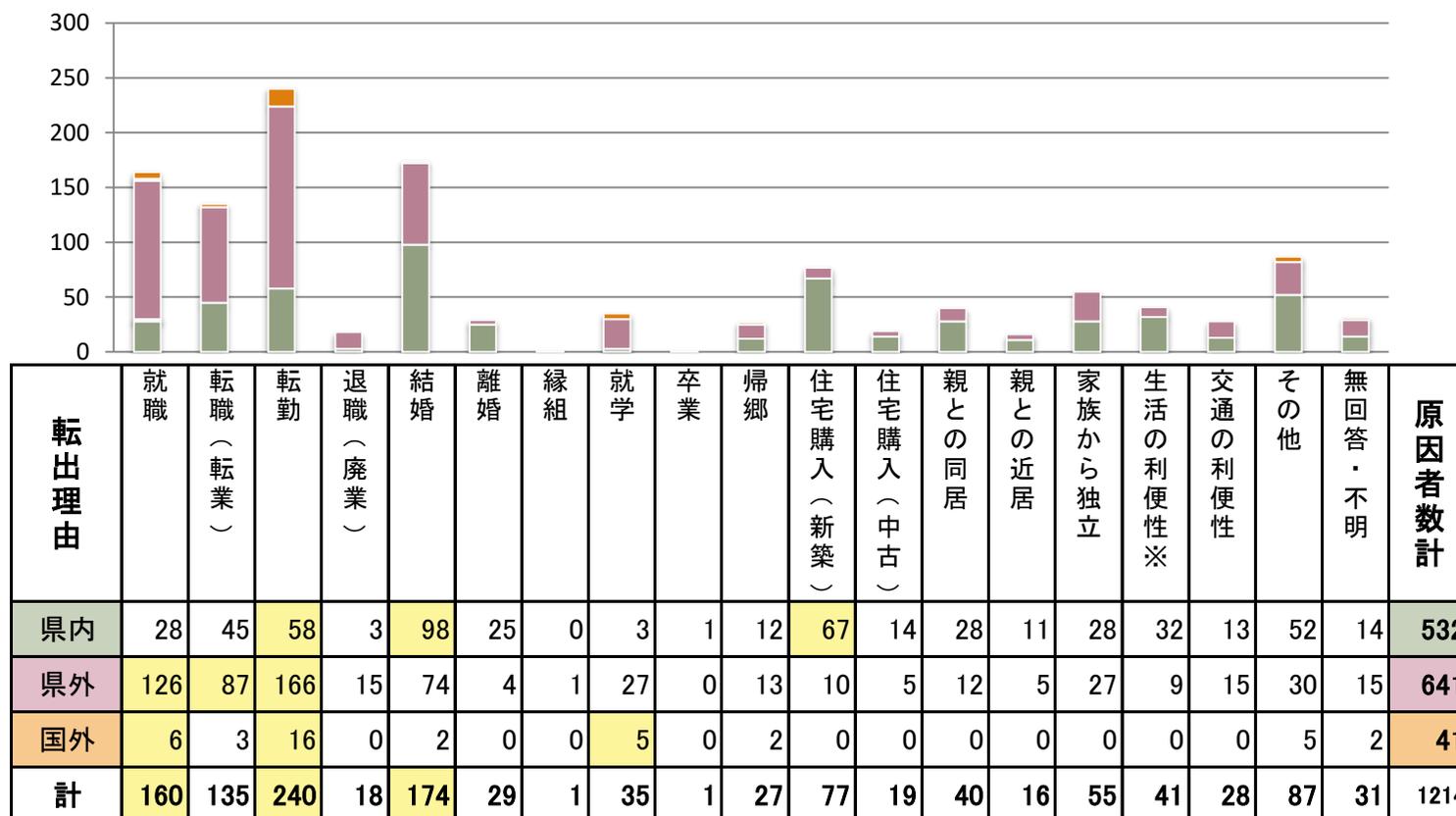
転入時期	原 因 者 数 (人)	各 月 の 割 合 (%)	就 職	転 職 ( 転 業 )	転 勤	退 職 ( 廃 業 )	結 婚	離 婚	縁 組	就 学	卒 業	帰 郷	住 宅 購 入 ( 新 築 )	住 宅 購 入 ( 中 古 )	親 と の 同 居	親 と の 近 居	家 族 か ら 独 立	生 活 の 利 便 性 ※	交 通 の 利 便 性	そ の 他	無 回 答 ・ 不 明
2016年8月	103	100.0%	5.8%	9.7%	13.6%	2.9%	20.4%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	3.9%	7.8%	1.9%	3.9%	0.0%	4.9%	6.8%	1.9%	12.6%	1.0%
9月	63	100.0%	9.5%	3.2%	27.0%	1.6%	15.9%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	0.0%	1.6%	1.6%	4.8%	6.3%	0.0%	7.9%	0.0%
10月	60	100.0%	5.0%	10.0%	28.3%	0.0%	11.7%	5.0%	0.0%	1.7%	0.0%	3.3%	6.7%	3.3%	3.3%	0.0%	3.3%	5.0%	0.0%	10.0%	3.3%
11月	78	100.0%	7.7%	10.3%	11.5%	0.0%	21.8%	5.1%	1.3%	1.3%	0.0%	1.3%	9.0%	2.6%	1.3%	1.3%	5.1%	6.4%	1.3%	6.4%	6.4%
12月	82	100.0%	4.9%	4.9%	17.1%	4.9%	11.0%	7.3%	0.0%	4.9%	0.0%	6.1%	7.3%	1.2%	3.7%	0.0%	1.2%	11.0%	2.4%	9.8%	2.4%
2017年1月	71	100.0%	4.2%	8.5%	12.7%	5.6%	14.1%	5.6%	0.0%	1.4%	1.4%	5.6%	4.2%	4.2%	1.4%	0.0%	4.2%	8.5%	1.4%	14.1%	2.8%
2月	89	100.0%	5.6%	11.2%	18.0%	0.0%	13.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	6.7%	4.5%	6.7%	1.1%	3.4%	9.0%	3.4%	7.9%	3.4%
3月	280	100.0%	31.4%	8.6%	16.1%	1.4%	9.3%	2.1%	0.0%	4.3%	0.7%	1.8%	4.3%	3.9%	2.1%	1.4%	1.1%	2.1%	0.4%	8.2%	0.7%
4月	161	100.0%	14.3%	4.3%	39.1%	3.7%	8.7%	3.7%	0.0%	2.5%	1.9%	1.2%	3.1%	2.5%	3.1%	0.6%	1.9%	3.1%	0.6%	3.1%	2.5%
5月	84	100.0%	20.2%	8.3%	16.7%	3.6%	15.5%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	2.4%	4.8%	1.2%	3.6%	0.0%	4.8%	7.1%	0.0%	8.3%	1.2%
6月	51	100.0%	7.8%	15.7%	3.9%	2.0%	2.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	2.0%	5.9%	7.8%	5.9%	9.8%	13.7%	5.9%	5.9%	3.9%
7月	74	100.0%	5.4%	4.1%	23.0%	2.7%	14.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	4.1%	6.8%	6.8%	0.0%	8.1%	6.8%	4.1%	6.8%	2.7%
計	1196	100.0%	14.1%	7.9%	19.8%	2.3%	12.6%	3.2%	0.2%	2.1%	0.5%	2.8%	5.8%	3.2%	3.4%	0.9%	3.5%	5.9%	1.4%	8.1%	2.2%

## (2) 転出理由

### ① 県内・県外・国外別

- ・ 転出者全体では、上位から〔転勤〕、〔結婚〕、〔就職〕となっており、これらで全体の半数近くを占める。  
(転勤19.8%、結婚14.3%、就職13.2%、合計47.3%)
- ・ 県内への転出では、上位から〔結婚〕、〔住宅購入(新築)〕、〔転勤〕となっており、これらで全体の約4割を占める。  
(結婚18.4%、住宅購入12.6%、転勤は10.9%、合計41.9%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔転職(転業)〕となっており、これらで全体の約6割を占める。  
(転勤25.9%、就職19.7%、転職(転業) 13.6%、合計59.1%)
- ・ 国外への転出では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔就学〕となっており、これらで全体の約7割を占める。  
(転勤39.0%、就職14.6%、就学12.2%、合計65.9%)

(単位:人)



※生活の利便性・・・買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

(2) 転出理由

② 月別

- ・ 転出理由の1位となっている〔転勤〕は、3月が最も多く、9月が続く。
- ・ 2位の〔結婚〕は、3月が最も多く、2月と4月が続く。
- ・ 3位の〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。

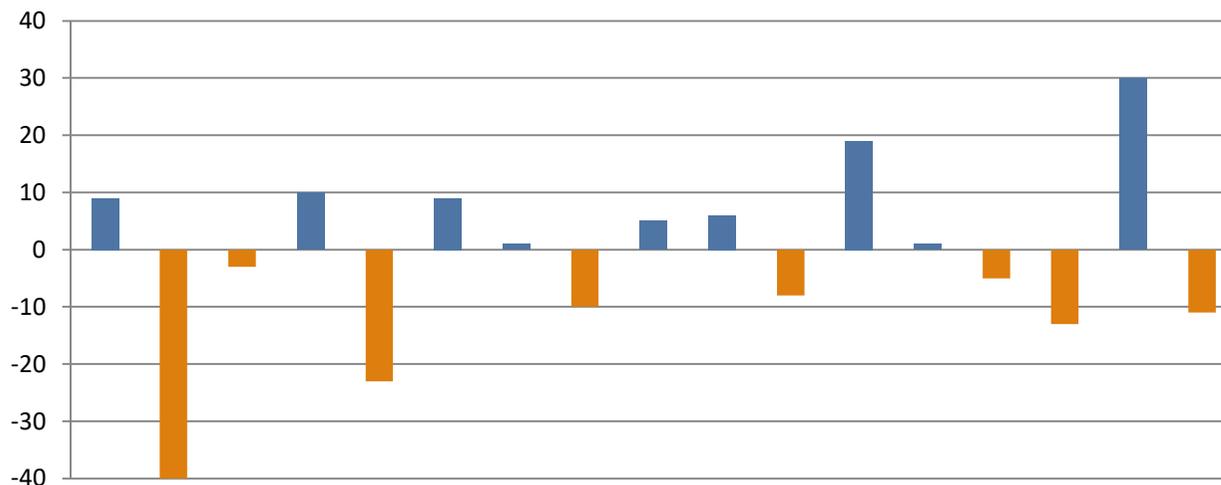
	原因者数(人)	月別/年間原因者数	転入理由																		
			就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2016年8月	75	6.2%	6	11	13	3	13	2	0	2	0	0	3	2	3	0	4	7	1	5	0
9月	97	8.0%	7	11	24	1	18	2	0	0	0	1	6	2	6	0	3	2	4	7	3
10月	54	4.4%	2	4	14	0	4	1	0	2	0	2	4	1	2	3	2	4	2	7	0
11月	84	6.9%	6	12	11	2	13	3	0	2	0	4	4	1	2	2	6	1	4	8	3
12月	74	6.1%	9	5	12	3	11	3	0	1	0	3	8	2	3	1	1	1	3	7	1
2017年1月	66	5.4%	0	9	9	0	9	6	1	1	0	1	5	2	2	0	5	5	1	6	4
2月	102	8.4%	7	17	16	1	19	3	0	1	0	0	4	1	5	4	6	5	3	9	1
3月	341	28.1%	95	22	81	3	34	6	0	23	1	3	25	1	5	2	12	8	3	13	4
4月	110	9.1%	11	15	22	2	19	0	0	3	0	5	7	1	3	1	3	3	0	9	6
5月	86	7.1%	10	15	10	3	12	0	0	0	0	5	3	4	5	2	3	4	3	2	5
6月	67	5.5%	5	8	16	0	15	1	0	0	0	0	2	1	1	0	5	0	4	7	2
7月	58	4.8%	2	6	12	0	7	2	0	0	0	3	6	1	3	1	5	1	0	7	2
計	1214	100.0%	160	135	240	18	174	29	1	35	1	27	77	19	40	16	55	41	28	87	31

	原因者数(人)	各月の割合(人)	転入理由																		
			就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2016年8月	75	100.0%	8.0%	14.7%	17.3%	4.0%	17.3%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	4.0%	2.7%	4.0%	0.0%	5.3%	9.3%	1.3%	6.7%	0.0%
9月	97	100.0%	7.2%	11.3%	24.7%	1.0%	18.6%	2.1%	0.0%	0.0%	1.0%	6.2%	2.1%	6.2%	0.0%	3.1%	2.1%	4.1%	7.2%	3.1%	
10月	54	100.0%	3.7%	7.4%	25.9%	0.0%	7.4%	1.9%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	7.4%	1.9%	3.7%	5.6%	3.7%	7.4%	3.7%	13.0%	0.0%
11月	84	100.0%	7.1%	14.3%	13.1%	2.4%	15.5%	3.6%	0.0%	2.4%	0.0%	4.8%	4.8%	1.2%	2.4%	2.4%	7.1%	1.2%	4.8%	9.5%	3.6%
12月	74	100.0%	12.2%	6.8%	16.2%	4.1%	14.9%	4.1%	0.0%	1.4%	0.0%	4.1%	10.8%	2.7%	4.1%	1.4%	1.4%	1.4%	4.1%	9.5%	1.4%
2017年1月	66	100.0%	0.0%	13.6%	13.6%	0.0%	13.6%	9.1%	1.5%	1.5%	0.0%	1.5%	7.6%	3.0%	3.0%	0.0%	7.6%	7.6%	1.5%	9.1%	6.1%
2月	102	100.0%	6.9%	16.7%	15.7%	1.0%	18.6%	2.9%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	3.9%	1.0%	4.9%	3.9%	5.9%	4.9%	2.9%	8.8%	1.0%
3月	341	100.0%	27.9%	6.5%	23.8%	0.9%	10.0%	1.8%	0.0%	6.7%	0.3%	0.9%	7.3%	0.3%	1.5%	0.6%	3.5%	2.3%	0.9%	3.8%	1.2%
4月	110	100.0%	10.0%	13.6%	20.0%	1.8%	17.3%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	4.5%	6.4%	0.9%	2.7%	0.9%	2.7%	2.7%	0.0%	8.2%	5.5%
5月	86	100.0%	11.6%	17.4%	11.6%	3.5%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	3.5%	4.7%	5.8%	2.3%	3.5%	4.7%	3.5%	2.3%	5.8%
6月	67	100.0%	7.5%	11.9%	23.9%	0.0%	22.4%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.5%	1.5%	0.0%	7.5%	0.0%	6.0%	10.4%	3.0%
7月	58	100.0%	3.4%	10.3%	20.7%	0.0%	12.1%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	10.3%	1.7%	5.2%	1.7%	8.6%	1.7%	0.0%	12.1%	3.4%
計	1214	100.0%	13.2%	11.1%	19.8%	1.5%	14.3%	2.4%	0.1%	2.9%	0.1%	2.2%	6.3%	1.6%	3.3%	1.3%	4.5%	3.4%	2.3%	7.2%	2.6%

### (3) 転入超過数と転出超過数

- ・ 転入超過となっている理由は、上位から〔生活の利便性〕、〔住宅の購入（中古）〕、〔退職（廃業）〕となっている。
- ・ 転出超過となっている理由は、上位から〔転職（転業）〕、〔結婚〕、〔家族からの独立〕となっている。
- ・ 〔就職・退職（廃業）〕が転入超過である一方、〔転職・転勤〕では転出超過である。
- ・ 〔離婚〕が転入超過である一方、〔結婚〕では転出超過である。
- ・ 〔住宅購入（中古）〕が転入超過である一方、〔住宅購入（新築）〕では転出超過である。
- ・ 〔就職・卒業・帰郷〕が転入超過である一方、〔就学〕では転出超過である。

(単位:人)



移動理由	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	原因者数計
牛久市へ転入	169	95	237	28	151	38	2	25	6	33	69	38	41	11	42	71	17	97	26	1196
牛久市から転出	160	135	240	18	174	29	1	35	1	27	77	19	40	16	55	41	28	87	31	1214
転入・転出の差	9	-40	-3	10	-23	9	1	-10	5	6	-8	19	1	-5	-13	30	-11			

※生活の利便性・・・買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

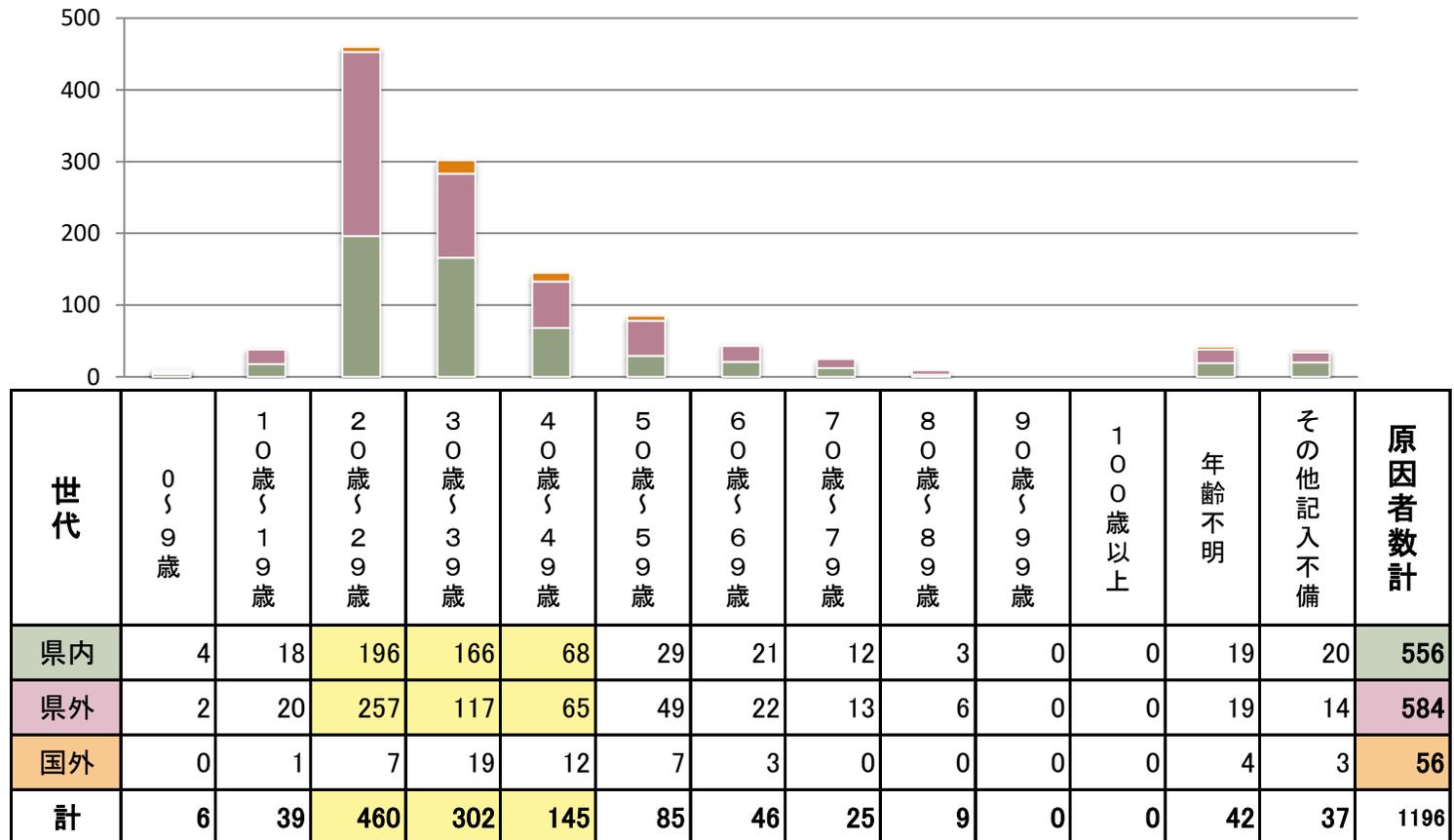
## 4 移動の世代（原因者数ベース）

### (1) 転入理由となった方（原因者）の数と世代

#### ① 県内・県外・国外別

- ・ 転入全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の75.8%を占める。  
（20歳代38.5%、30歳代25.3%、40歳代12.1%）
- ・ 県内・県外ともに全体と同様の傾向であり、これらの世代の転入で、県内では77.3%、県外では75.2%を占める。
- ・ 国外については、上位から〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、〔20歳代〕と〔50歳代〕が同数で続いている。

（単位：人）

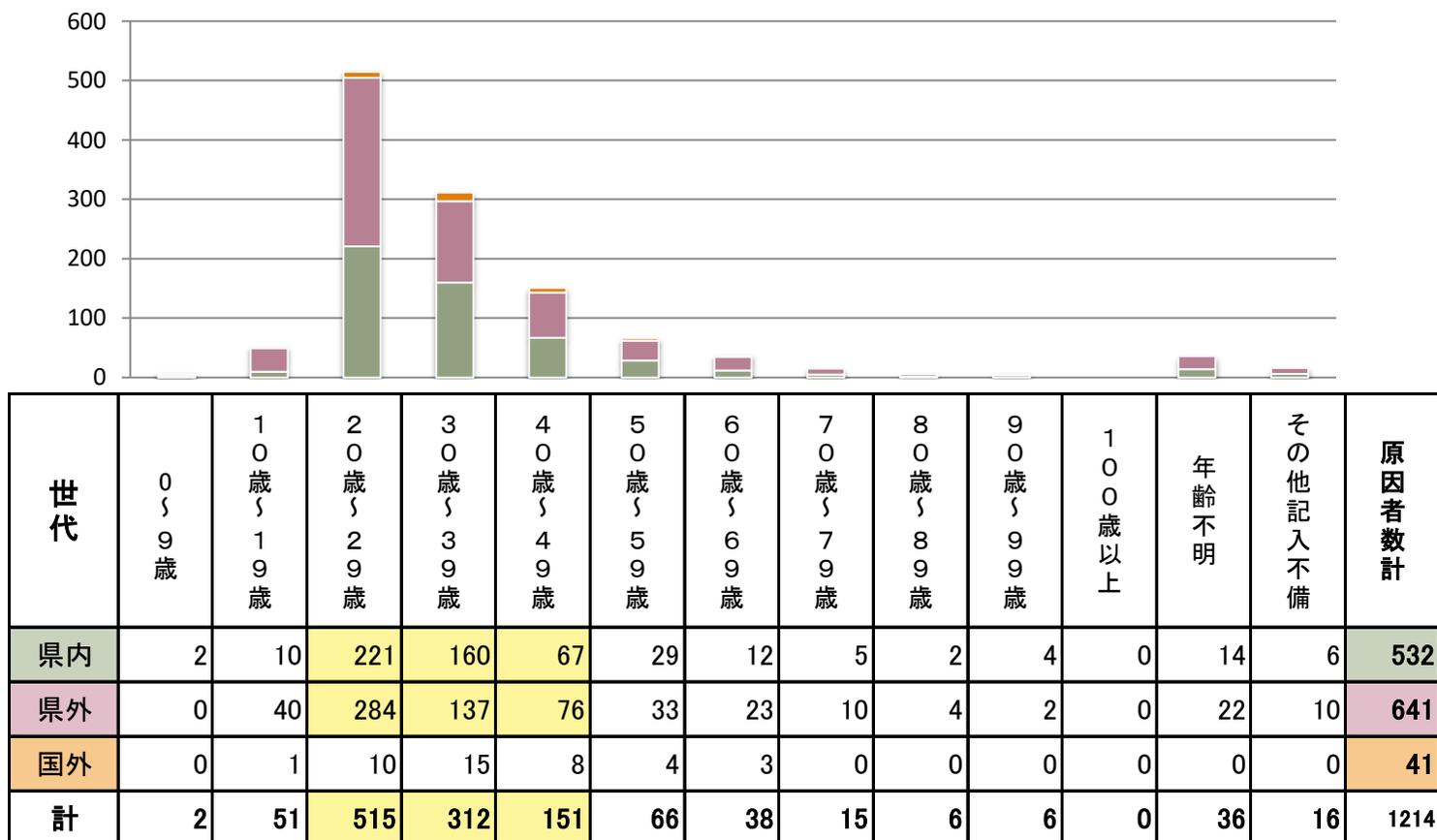


(2) 転出理由となった方（原因者）の数と世代

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の80.6%を占める。  
（20歳代42.4%、30歳代25.7%、40歳代12.4%）
- ・ 県内・県外ともに全体と同様の傾向であり、これらの世代の転入で、県内では84.2%、県外では77.5%を占める。
- ・ 国外については、上位から〔30歳代〕、〔20歳代〕、〔40歳代〕となっている。

(単位:人)



## 5 原因者の世代と移動者数（家族込総数ベース）

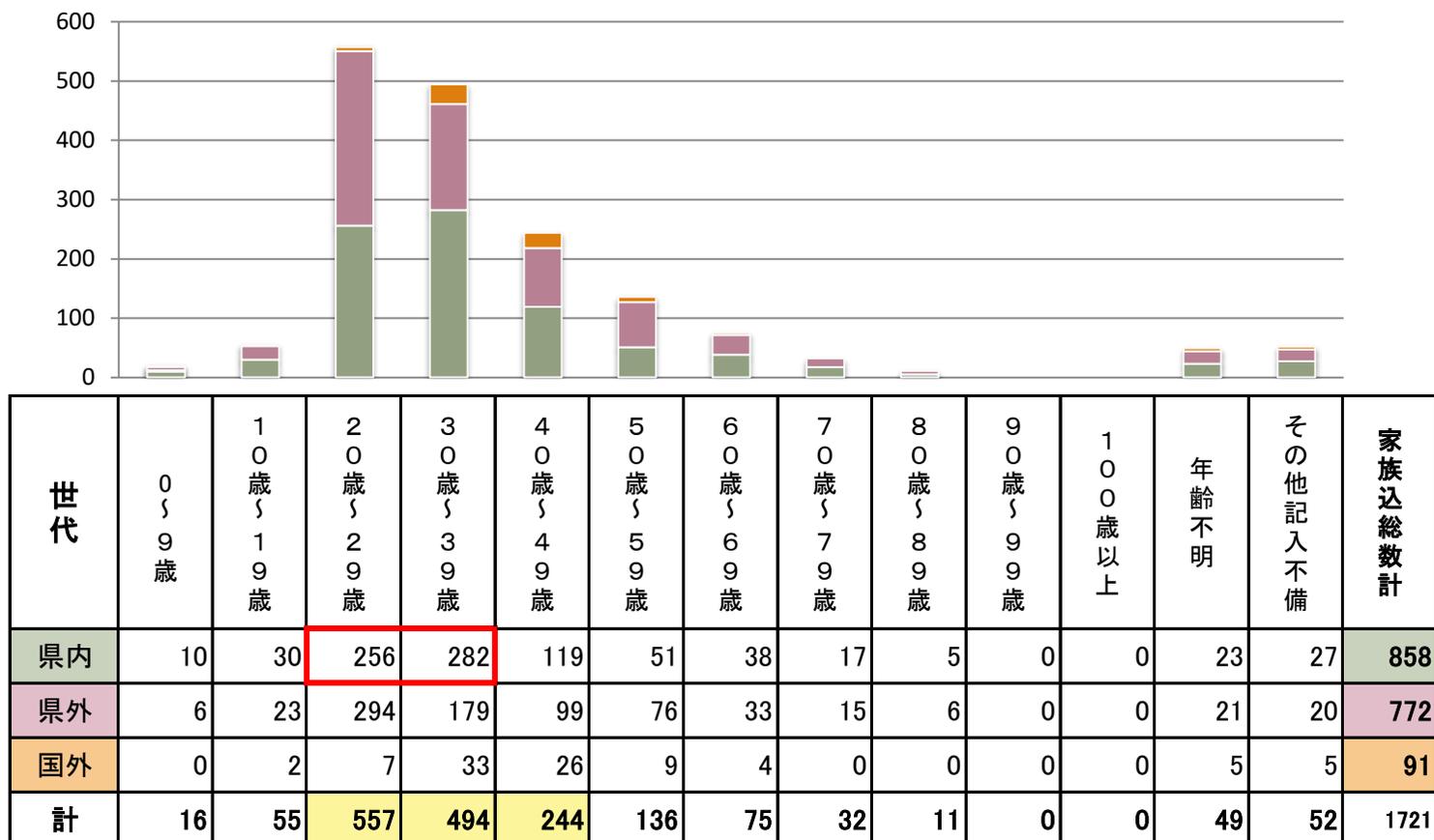
※移動の理由となった方（原因者）とその同伴者数の計を世代ごとにみることで、どの世代の移動の影響が大きいかをみる

### (1) 転入理由となった方の世代と移動者数

#### ① 県内・県外・国外別

- ・転入全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の75.2%を占める。  
（20歳代32.4%、30歳代28.7%、40歳代14.1%）
- ・原因者数では県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多いが、家族込総数で見ると、県内では20歳代よりも30歳代のほうが多くなっている。
- ・国外については、上位から〔30歳代〕、〔40歳代〕、〔20歳代〕となっている。

（単位：人）

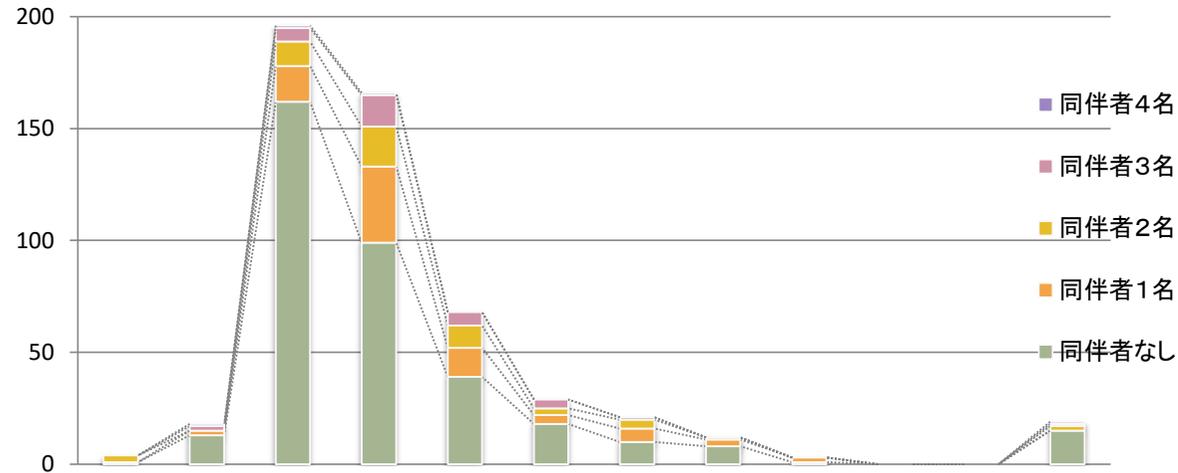


(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

② 県内

- ・ 以下は、県内からの転入理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（65.8%）、次が〔同伴者1名〕
- ・ 同伴者が最も多い世代は〔30歳代〕で同伴者数の合計は116人、続く〔20歳代〕は60人、〔40歳代〕は51人である。
- ・ 30歳代の同伴者が多いことにより、家族込総数ベースでは、20歳代よりも30歳代の転入が多くなっている。

(単位:人)



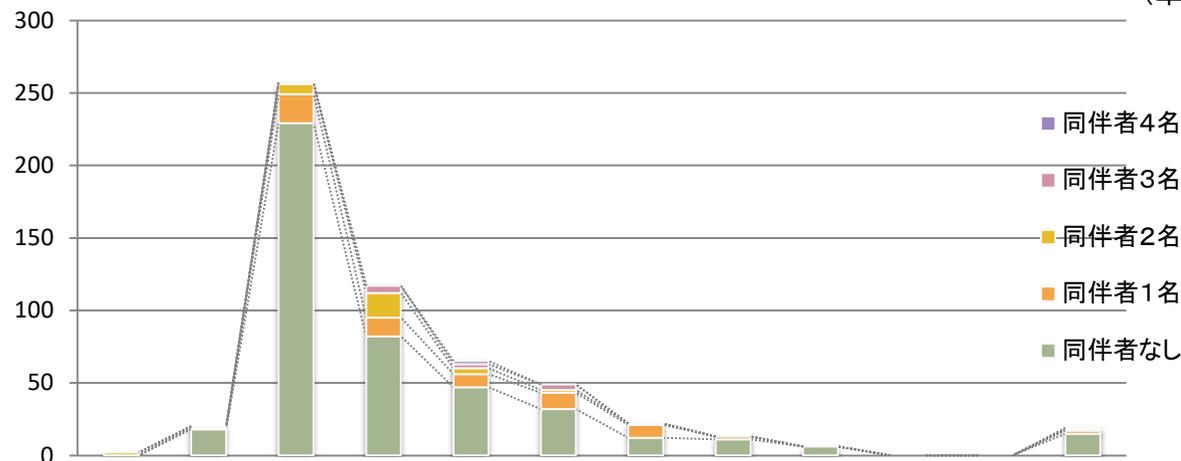
転入理由 となった方	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
		人数	4	18	196	166	68	29	21	12	3	0	0	19	
一緒に移動する 方の人数	なし	1	13	162	99	39	18	10	8	1	0	0	15	-	366
	1名	0	2	16	34	13	4	6	3	2	0	0	0	-	80
	2名	3	0	11	18	10	3	4	1	0	0	0	2	-	52
	3名	0	2	6	14	6	4	1	0	0	0	0	1	-	34
	4名	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	-	4
同伴者数		6	12	60	116	51	22	17	5	2	0	0	11	-	302
家族込総数		10	30	256	282	119	51	38	17	5	0	0	30	20	858

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

③ 県外

- ・ 以下は、県外からの転入理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（77.4%）、次が〔同伴者1名〕
- ・ 同伴者が最も多い世代は〔30歳代〕で同伴者数の合計は62人、続く〔20歳代〕は37人、〔40歳代〕は34人である。
- ・ 30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでも20歳代のほうが30歳代の転入よりも多くなっている。

(単位:人)

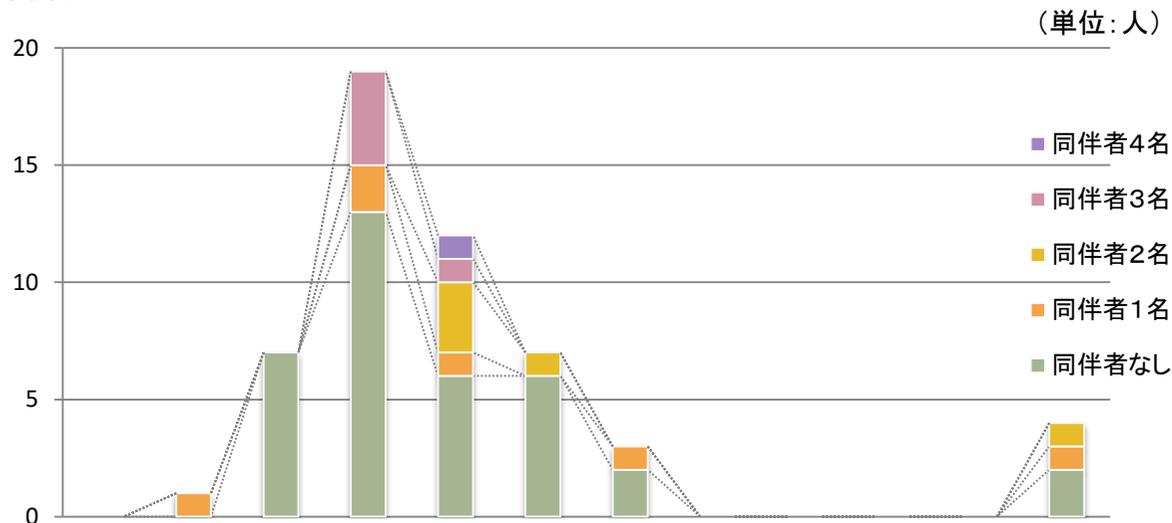


転入理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以 上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
		人数	2	20	257	117	65	49	22	13	6	0	0	19	14
一 緒 に 移 動 す る 方 の 人 数	なし	0	18	229	82	47	32	12	11	6	0	0	15	-	452
	1名	0	1	20	13	9	11	9	2	0	0	0	2	-	67
	2名	2	1	7	17	4	2	1	0	0	0	0	1	-	35
	3名	0	0	1	5	3	4	0	0	0	0	0	0	-	13
	4名	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	-	3
同伴者数		4	3	37	62	34	27	11	2	0	0	0	8	-	188
家族込総数		6	23	294	179	99	76	33	15	6	0	0	27	14	772

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

④ 国外

- ・ 転入理由となった方（以下原因者という）は、〔30歳代〕が最も多く、次が〔40歳代〕である。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多い（64.3%）。
- ・ 同伴者数は、30歳代と40歳代で同数である。



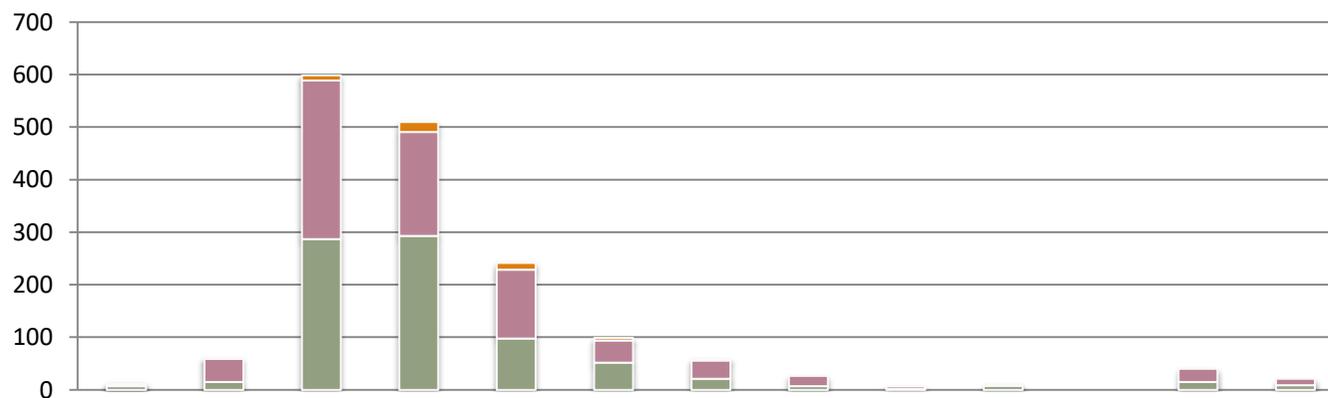
転入理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以 上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
	人数	0	1	7	19	12	7	3	0	0	0	0	4	3	
一 緒 に 移 動 す る 方 の 人 数	なし	0	0	7	13	6	6	2	0	0	0	0	2	-	36
	1名	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1	-	6
	2名	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	-	5
	3名	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	-	5
	4名	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-	1
同伴者数		0	1	0	14	14	2	1	0	0	0	0	3	-	35
家族込総数		0	2	7	33	26	9	4	0	0	0	0	7	3	91

## (2) 転出理由となった人の世代と移動者数

### ① 県内・県外・国外別

- ・ 転出全体でみると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の80.4%を占める。  
(20歳代35.6%、30歳代30.3%、40歳代14.3%)
- ・ 原因者数では県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多いが、家族込総数でみると、県内では20歳代よりも30歳代のほうが多くなっている。
- ・ 国外については、上位から〔30歳代〕、〔40歳代〕、〔20歳代〕となっている。

(単位:人)



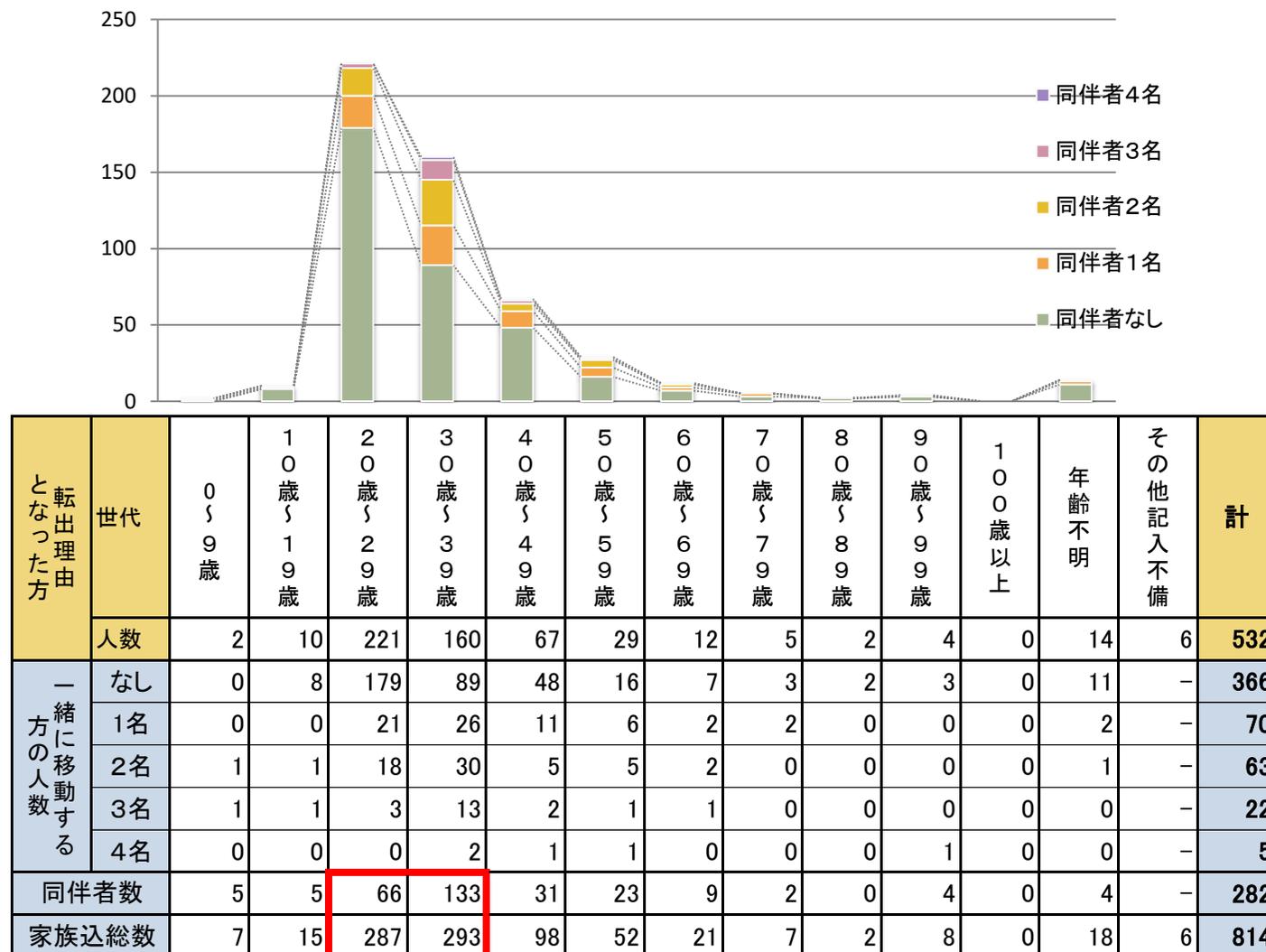
世代	0-9歳	10歳-19歳	20歳-29歳	30歳-39歳	40歳-49歳	50歳-59歳	60歳-69歳	70歳-79歳	80歳-89歳	90歳-99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	家族込総数計
県内	7	15	287	293	98	52	21	7	2	8	0	15	9	814
県外	0	44	302	198	131	42	35	20	5	2	0	25	12	816
国外	0	1	10	19	13	5	3	0	0	0	0	0	0	51
計	7	60	599	510	242	99	59	27	7	10	0	40	21	1681

## (2) 転出理由となった方の世代と移動者数

### ② 県内

- ・ 以下は、県内への転出理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（68.7%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者が最も多い世代は〔30歳代〕で同伴者数の合計は133人、続く〔20歳代〕は66人、〔40歳代〕は31人である。
- ・ 30歳代の同伴者が多いことにより、家族込総数ベースでは、20歳代よりも30歳代の転出が多くなっている。

（単位：人）

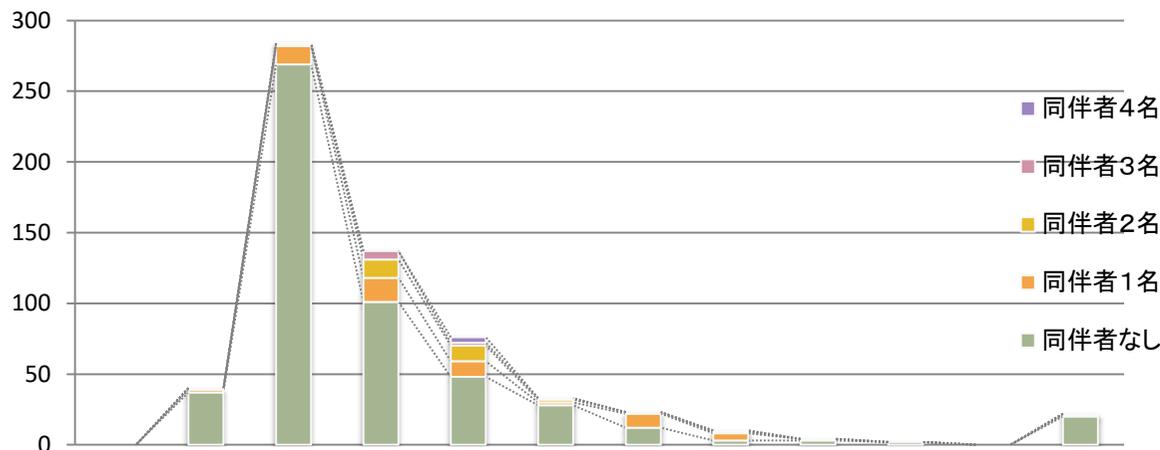


(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

③ 県外

- ・ 以下は、県外への転出理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（81.5%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者が最も多い世代は〔30歳代〕で同伴者数の合計は61人、続く〔40歳代〕は55人、〔20歳代〕は18人である。
- ・ 30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでも20歳代のほうが30歳代の転入よりも多くなっている。

(単位:人)



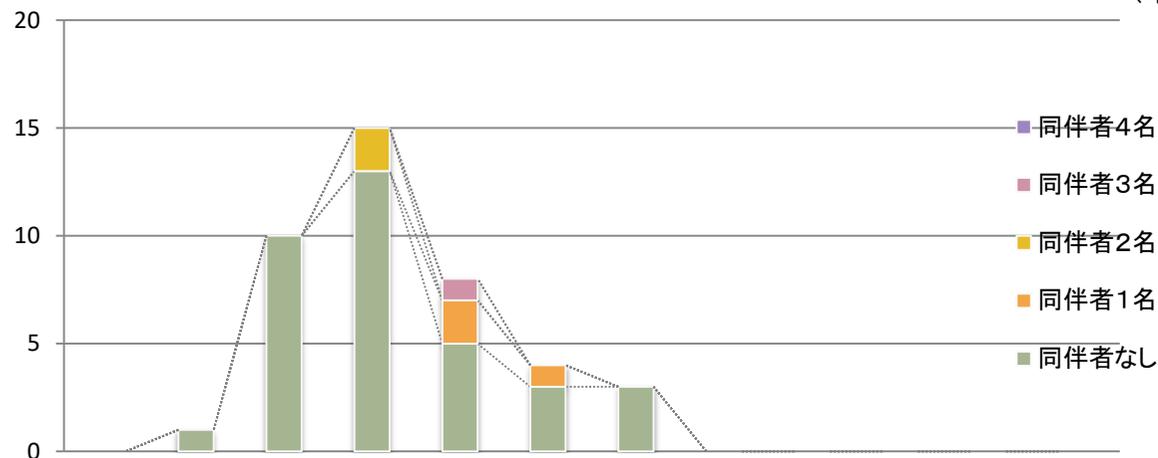
転出理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備	計
		人数	0	40	284	137	76	33	23	10	4	2	0	22	10
一 緒 に 移 動 す る 方 の 人 数	なし	0	37	269	101	48	28	12	3	3	2	0	20	-	523
	1名	0	2	13	17	11	2	10	5	1	0	0	1	-	62
	2名	0	1	1	13	11	2	1	1	0	0	0	1	1	32
	3名	0	0	1	6	2	1	0	1	0	0	0	0	-	11
	4名	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	-	4
同伴者数		0	4	18	61	55	9	12	10	1	0	0	3	2	173
家族込総数		0	44	302	198	131	42	35	20	5	2	0	25	12	816

(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

④ 国外

- ・ 転出理由となった方（以下原因者という）は、〔30歳代〕が最も多く、次が〔20歳代〕である。  
（30歳代36.6%、20歳代24.4%）
- ・ 一緒に移動する方（以下同伴者という）の有無及び人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多い（85.4%）。

（単位：人）



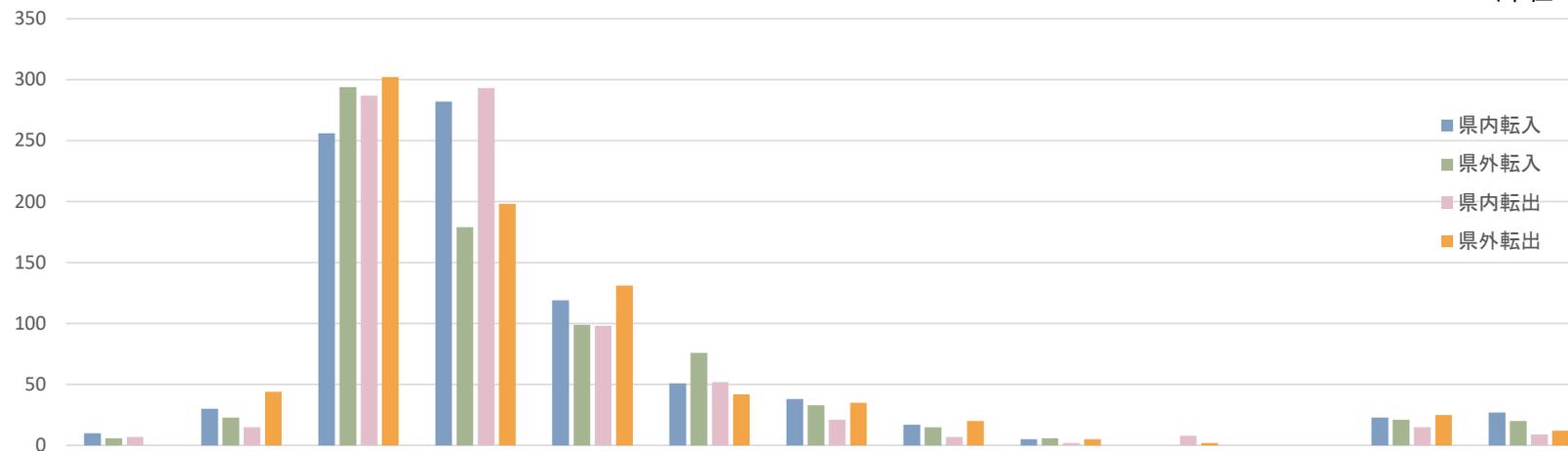
転出理由 となった方	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
	人数	0	1	10	15	8	4	3	0	0	0	0	0	0	
一緒に移動する 方の人数	なし	0	1	10	13	5	3	3	0	0	0	0	0	0	35
	1名	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	2名	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	3名	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴者数		0	0	0	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	10
家族込総数		0	1	10	19	13	5	3	0	0	0	0	0	0	51

### (3) 県内・県外の比較

#### ① 移動者数

- ・ 移動者数の最も多い20歳代は、多い順に〔県外転出〕、〔県外転入〕、〔県内転出〕、〔県内転入〕となっている。
- ・ 移動者数が2番目に多い30歳代では、多い順に〔県内転出〕、〔県内転入〕、〔県外転出〕、〔県外転入〕となっている。
- ・ 移動者数が3番目に多い40歳代では、多い順に〔県外転出〕、〔県内転入〕、〔県外転入〕、〔県外転出〕となっている。

(単位:人)



	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	家族込総数計
転入	県内転入	10	30	256	282	119	51	38	17	5	0	0	23	27	858
	県外転入	6	23	294	179	99	76	33	15	6	0	0	21	20	772
転出	県内転出	7	15	287	293	98	52	21	7	2	8	0	15	9	814
	県外転出	0	44	302	198	131	42	35	20	5	2	0	25	12	816
移動者数計		23	112	1139	952	447	221	127	59	18	10	0	84	68	3260

### (3) 県内・県外の比較

#### ② 転入超過数と転出超過数

- ・ 県内間、県外間の合計で、転入超過数が最も大きいのは〔50歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔20歳代〕である。
- ・ 県内間で、転入超過数が最も大きいのは〔40歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔20歳代〕である。
- ・ 県外間で、転入超過数が最も大きいのは〔50歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔40歳代〕である。

(単位:人)



世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
合計	9	-6	-39	-30	-11	33	15	5	4	-10	0	4	26	0
県内間	3	15	-31	-11	21	-1	17	10	3	-8	0	8	18	44
県外間	6	-21	-8	-19	-32	34	-2	-5	1	-2	0	-4	8	-44

## 6 転入後の地区・転出前の地区

### (1) 転入後の地区

#### ① 記入者数ベース

- ・転入する地区については、県内、県外、国外からの転入全てにおいて、〔ひたち野東〕、および〔ひたち野西〕が多い。  
(ひたち野東13.7%、ひたち野西12.8%、合計26.5%)
- ・上記2地区に次いで、県内からの転入では〔南〕が多く、県外からの転入では〔牛久町〕が多い。

(単位:人)

転入	記入者数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	556	28	2	0	1	0	21	25	26	0	0	9	5	1	68	90	17	13	37	24	27	39	32	27	3	0	0	4	1	3	0	0	2	1	2	48
県外	584	58	2	1	0	0	23	34	17	0	0	3	6	1	74	66	12	15	36	26	28	41	32	18	1	0	0	7	0	21	0	2	0	0	4	56
国外	56	4	1	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0	0	11	8	0	1	2	1	2	10	2	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	3
計	1196	90	5	1	2	0	45	61	44	0	0	13	11	2	153	164	29	29	75	51	57	90	66	46	4	0	0	14	1	24	0	3	2	1	6	107

#### ② 家族込総数ベース

- ・転入する地区については、県内、県外、国外からの転入全てにおいて、〔ひたち野東〕、および〔ひたち野西〕が多い。  
(ひたち野東15.1%、ひたち野西13.6%、合計28.7%)
- ・上記2地区に次いで、県内からの転入では〔南〕〔上柏田〕が多く、県外からの転入では〔牛久町〕が多い。

(単位:人)

転入	家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	858	46	4	0	1	0	39	42	28	0	0	20	7	1	111	156	19	17	55	33	36	55	44	39	7	0	0	7	1	4	0	0	5	2	3	76
県外	772	75	3	1	0	0	31	38	27	0	0	5	8	1	102	88	12	22	50	37	37	51	45	28	1	0	0	8	0	27	0	3	0	0	4	68
国外	91	5	1	0	3	0	1	2	1	0	0	1	0	0	21	16	0	1	3	3	3	12	2	4	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	6
計	1721	126	8	1	4	0	71	82	56	0	0	26	15	2	234	260	31	40	108	73	76	118	91	71	8	0	0	20	1	31	0	4	5	2	7	150

## (2) 転出前の地区

### ① 記入者数ベース

- ・転出前の地区について、全体では〔牛久町〕、〔ひたち野東〕、〔南〕がほぼ同数が多い。  
(牛久町9.1%、ひたち野東9.3%、南9.0%、合計27.3%)
- ・県内への転出では〔ひたち野西〕〔ひたち野東〕〔上柏田〕が、県外への転出では〔牛久町〕〔ひたち野東〕〔南〕が多い。

(単位:人)

転出	記入者数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	532	43	4	0	0	0	26	22	11	0	0	9	7	1	47	48	11	15	48	29	30	45	32	26	0	0	0	6	1	4	1	2	0	1	3	60
県外	641	61	4	0	3	0	32	32	18	1	0	4	10	0	44	61	10	12	31	30	40	58	30	32	3	0	1	8	0	24	1	1	2	0	1	87
国外	41	6	0	0	0	0	5	1	2	0	2	0	1	0	3	4	0	1	3	0	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	
計	1214	110	8	0	3	0	63	55	31	1	2	13	18	1	94	113	21	28	82	59	71	109	62	59	3	0	1	14	1	28	2	4	3	1	4	150

### ② 家族込総数ベース

- ・転出前の地区について、全体では〔ひたち野西〕、〔ひたち野東〕、〔牛久町〕の順に多い。  
(ひたち野西9.8%、ひたち野東9.6%、牛久町8.6%、合計28.0%)
- ・県内への転出では〔ひたち野西〕〔ひたち野東〕〔上柏田〕が、県外への転出では〔ひたち野東〕〔南〕〔ひたち野西〕が多い。

(単位:人)

転出	家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	814	66	6	0	0	0	33	30	18	0	0	19	10	5	86	73	13	24	77	53	50	59	42	37	0	0	0	9	1	8	1	2	0	2	4	86
県外	816	70	5	0	3	0	44	33	26	2	0	4	12	0	72	85	13	16	40	34	49	73	40	37	5	0	1	13	0	30	1	1	2	0	1	104
国外	51	8	0	0	0	0	6	1	2	0	2	0	1	0	6	4	0	3	4	0	1	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
計	1681	144	11	0	3	0	83	64	46	2	2	23	23	5	164	162	26	43	121	87	100	139	82	75	5	0	1	22	1	38	2	4	3	2	5	193

### (3) 転入超過数と転出超過数

- ・新市街地の転入超過が大きく、旧市街地の転出超過が多い傾向があるが、〔田宮町〕〔田宮〕など、旧市街地にも転入超過地区がみられる。

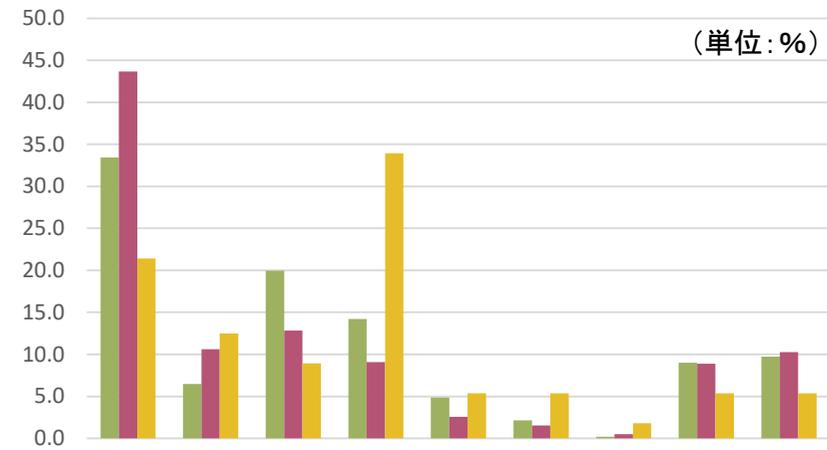
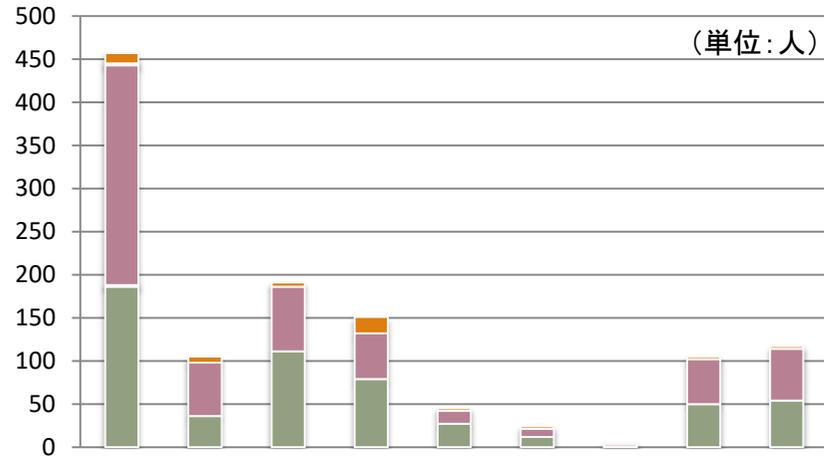
(単位:人)

		家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端六町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結東町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	
県内	転入	858	46	4	0	1	0	39	42	28	0	0	20	7	1	111	156	19	17	55	33	36	55	44	39	7	0	0	7	1	4	0	0	5	2	3	76	
	転出	814	66	6	0	0	0	33	30	18	0	0	19	10	5	86	73	13	24	77	53	50	59	42	37	0	0	0	9	1	8	1	2	0	2	4	86	
	差	44	-20	-2	0	1	0	6	12	10	0	0	1	-3	-4	25	83	6	-7	-22	-20	-14	-4	2	2	7	0	0	-2	0	-4	-1	-2	5	0	-1	-10	
県外	転入	772	75	3	1	0	0	31	38	27	0	0	5	8	1	102	88	12	22	50	37	37	51	45	28	1	0	0	8	0	27	0	3	0	0	4	68	
	転出	816	70	5	0	3	0	44	33	26	2	0	4	12	0	72	85	13	16	40	34	49	73	40	37	5	0	1	13	0	30	1	1	2	0	1	104	
	差	-44	5	-2	1	-3	0	-13	5	1	-2	0	1	-4	1	30	3	-1	6	10	3	-12	-22	5	-9	-4	0	-1	-5	0	-3	-1	2	-2	0	3	-36	
国外	転入	91	5	1	0	3	0	1	2	1	0	0	1	0	0	21	16	0	1	3	3	3	12	2	4	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	6	
	転出	51	8	0	0	0	0	6	1	2	0	2	0	1	0	6	4	0	3	4	0	1	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
	差	40	-3	1	0	3	0	-5	1	-1	0	-2	1	-1	0	15	12	0	-2	-1	3	2	5	2	3	0	0	0	5	0	0	0	0	-1	0	0	3	
合計	転入	1721	126	8	1	4	0	71	82	56	0	0	26	15	2	234	260	31	40	108	73	76	118	91	71	8	0	0	20	1	31	0	4	5	2	7	150	
	転出	1681	144	11	0	3	0	83	64	46	2	2	23	23	5	164	162	26	43	121	87	100	139	82	75	5	0	1	22	1	38	2	4	3	2	5	193	
	差	40	-18	-3	1	1	0	-12	18	10	-2	-2	3	-8	-3	70	98	5	-3	-13	-14	-24	-21	9	-4	3	0	-1	-2	0	-7	-2	0	2	0	2	-43	

## 7 移動後の家族構成（記入者数ベース）

### (1) 転入後の家族構成

- ・ 転入後の家族構成については、上位から〔一人暮らし〕、〔夫婦が同居〕、〔夫婦と子どもが同居〕となっている。  
（一人暮らし37.9%、夫婦が同居16.0%、夫婦と子どもが同居12.6%）
- ・ 転入後、〔一人暮らし〕の割合は、県外からの転入が最も高い。（県内からの転入33.5%、県外からの転入43.7%、国外からの転入21.4%）
- ・ 転入後、〔夫婦が同居〕の割合は、県内からの転入が最も高い。（県内からの転入20.0%、県外からの転入12.8%、国外からの転入8.9%）
- ・ 転入後、〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内からの転入のほうが、県外からの転入よりも高い。（県内からの転入14.2%、県外からの転入9.1%）
- ・ 県外からの転入では、〔親と独身の子が同居〕の割合が県内からの転入と比較して高い。（県内からの転入6.5%、県外からの転入10.6%）
- ・ 県内からの転入では、〔ひとり親と子どもが同居〕の割合が、県外からの転入と比較して高い（県内からの転入4.9%、県外からの転入2.6%）

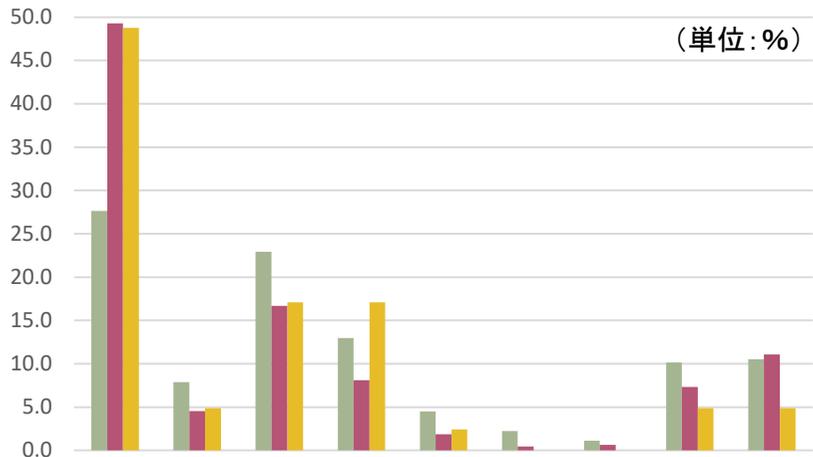
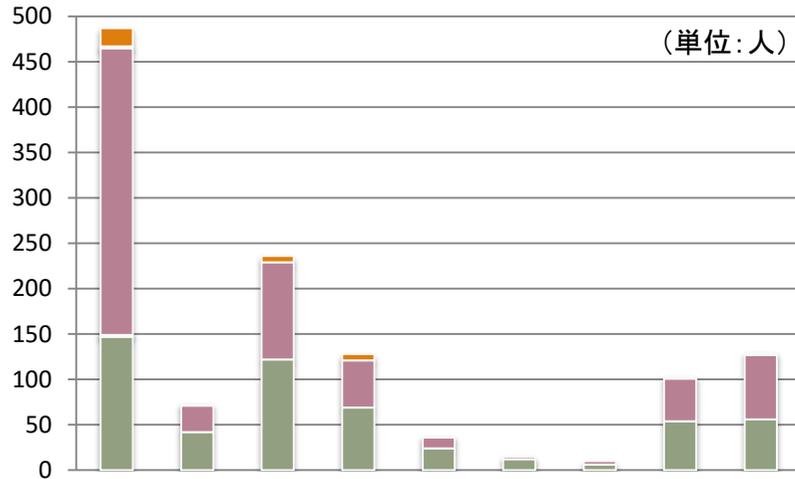


家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子どもが同居、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	186	36	111	79	27	12	1	50	54	556
県外	255	62	75	53	15	9	3	52	60	584
国外	12	7	5	19	3	3	1	3	3	56
計	453	105	191	151	45	24	5	105	117	1196

家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子どもが同居、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	計
県内	33.5	6.5	20.0	14.2	4.9	2.2	0.2	9.0	9.7	100.0
県外	43.7	10.6	12.8	9.1	2.6	1.5	0.5	8.9	10.3	100.0
国外	21.4	12.5	8.9	33.9	5.4	5.4	1.8	5.4	5.4	100.0
計	37.9	8.8	16.0	12.6	3.8	2.0	0.4	8.8	9.8	100.0

## (2) 転出後の家族構成

- ・ 転出後の家族構成については、上位から〔一人暮らし〕、〔夫婦が同居〕、〔夫婦と子どもが同居〕となっている。  
 (一人暮らし39.8%、夫婦が同居19.4%、夫婦と子どもが同居10.5%)
- ・ 転出後、〔一人暮らし〕の割合は、県外への転出が最も高い。(県内への転出27.6%、県外への転出49.3%、国外への転出48.8%)
- ・ 転出後、〔夫婦が同居〕の割合は、県内への転出が最も高い。(県内への転出22.9%、県外への転出16.7%、国外への転出17.1%)
- ・ 転出後、〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外への転出よりも高い。(県内への転出13.0%、県外への転出8.1%)

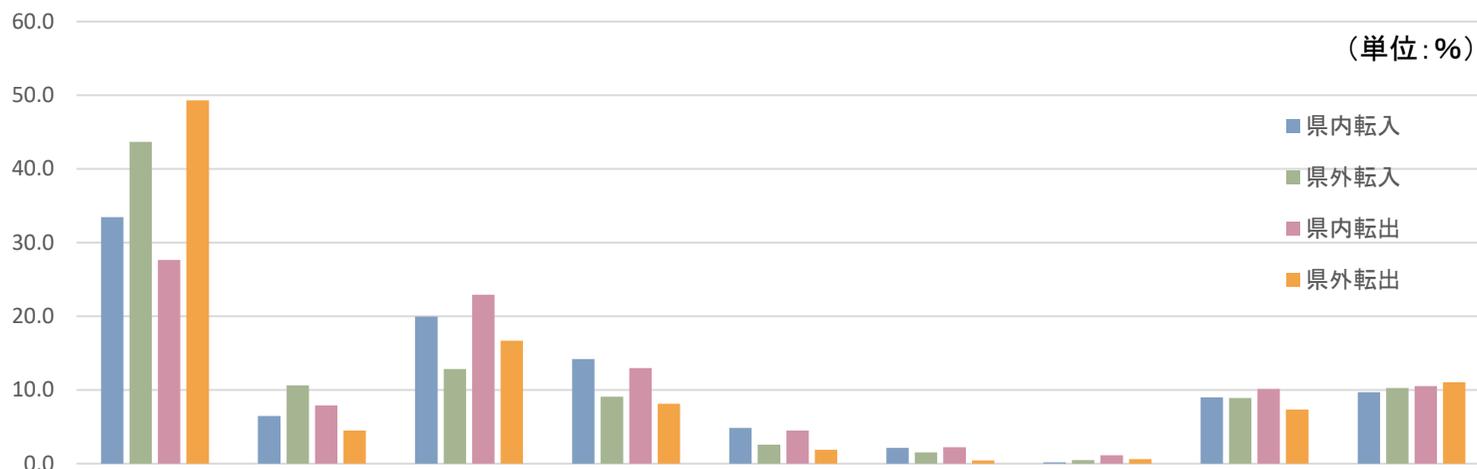


家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子どもが同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	147	42	122	69	24	12	6	54	56	532
県外	316	29	107	52	12	3	4	47	71	641
国外	20	2	7	7	1	0	0	2	2	41
計	483	73	236	128	37	15	10	103	129	1214

家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子どもが同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	計
県内	27.6	7.9	22.9	13.0	4.5	2.3	1.1	10.2	10.5	100.0
県外	49.3	4.5	16.7	8.1	1.9	0.5	0.6	7.3	11.1	100.0
国外	48.8	4.9	17.1	17.1	2.4	0.0	0.0	4.9	4.9	100.0
計	39.8	6.0	19.4	10.5	3.0	1.2	0.8	8.5	10.6	100.0

### (3) 県内と県外の比較

- ・ 移動後に〔一人暮らし〕の割合は、転入・転出、県内・県外全ての区分において最も高いが、県外間移動（特に転出）でより高い傾向がある。
- ・ 移動後に〔夫婦が同居〕の割合は、県内間移動のほうが県外間移動よりも高く、**県内への転出のほうが県内からの転入よりも高い。**
- ・ 移動後に〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内間移動のほうが県外間移動よりも高く、**県内転出よりも県内転入のほうが高い。**
- ・ 移動後に〔親と独身の子が同居〕の割合は、県外からの転入で最も高い。
- ・ 転出後、〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外への転出よりも高い。（県内への転出13.0%、県外への転出8.1%）

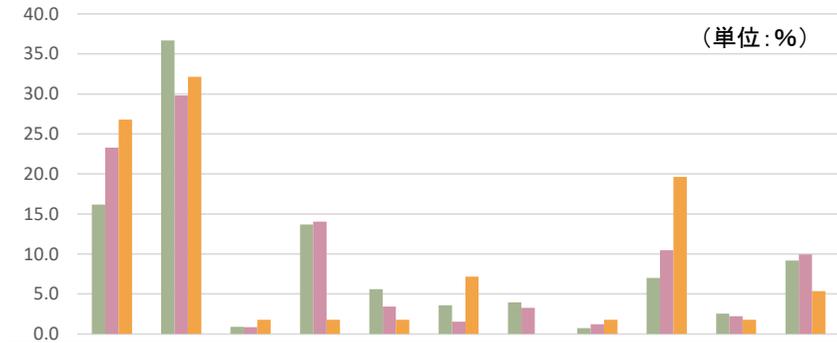
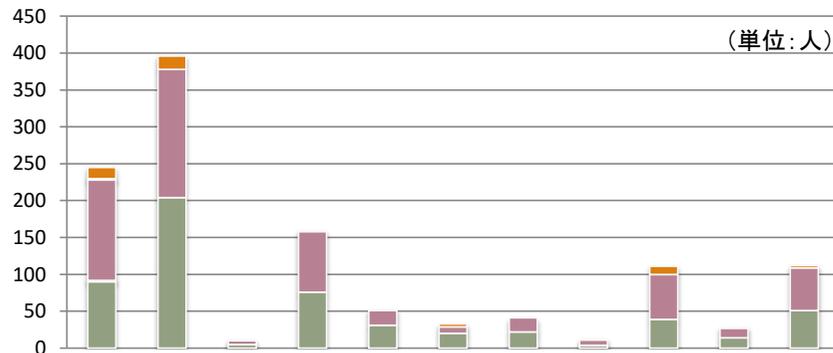


	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明
県内転入	33.5	6.5	20.0	14.2	4.9	2.2	0.2	9.0	9.7
県外転入	43.7	10.6	12.8	9.1	2.6	1.5	0.5	8.9	10.3
県内転出	27.6	7.9	22.9	13.0	4.5	2.3	1.1	10.2	10.5
県外転出	49.3	4.5	16.7	8.1	1.9	0.5	0.6	7.3	11.1

## 8 世帯主の職業（記入者数ベース）

### (1) 転入者の世帯主の職業

- ・ 転入者の世帯主の職業については、上位から〔会社員（市外勤務）〕、〔会社員（市内勤務）〕、〔公務員・団体職員〕となっている。
- ・ 〔会社員（市内勤務）〕の割合は、県内からの転入者よりも、県外からの転入者のほうが高い。  
（県内からの転入者16.2%、県外からの転入者23.3%）
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、県内からの転入者のほうが、県外からの転入者よりも高い。  
（県内からの転入者36.7%、県外からの転入者29.8%）
- ・ 〔無職〕の割合は、県内からの転入者よりも、県外からの転入者のほうが高い。  
（県内からの転入者7.0%、県外からの転入者10.4%）

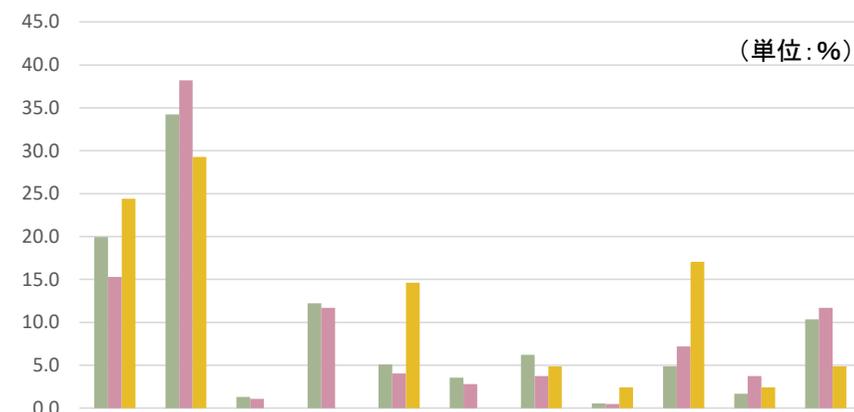
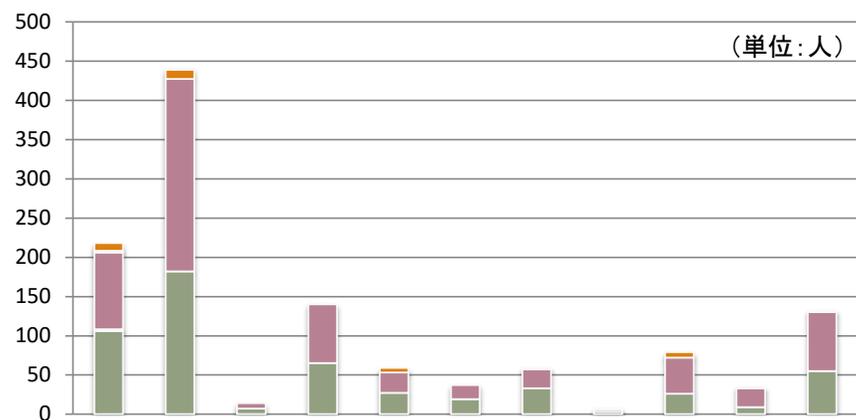


世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	90	204	5	76	31	20	22	4	39	14	51	556
県外	136	174	5	82	20	9	19	7	61	13	58	584
国外	15	18	1	1	1	4	0	1	11	1	3	56
計	241	396	11	159	52	33	41	12	111	28	112	1196

世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	計
県内	16.2	36.7	0.9	13.7	5.6	3.6	4.0	0.7	7.0	2.5	9.2	100.0
県外	23.3	29.8	0.9	14.0	3.4	1.5	3.3	1.2	10.4	2.2	9.9	100.0
国外	26.8	32.1	1.8	1.8	1.8	7.1	0.0	1.8	19.6	1.8	5.4	100.0
計	20.2	33.1	0.9	13.3	4.3	2.8	3.4	1.0	9.3	2.3	9.4	100.0

## (2) 転出者の世帯主の職業

- ・ 転出者の世帯主の職業は、〔会社員（市外勤務）〕が最も多く、〔会社員（市内勤務）〕、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 〔会社員（市内勤務）〕の割合は、県内への転出者のほうが、県外への転出者よりも高い。  
（県内への転出者19.9%、県外への転出者15.3%）
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、県内への転出者よりも、県外への転出者のほうが高い。  
（県内への転出者34.2%、県外への転出者38.2%）



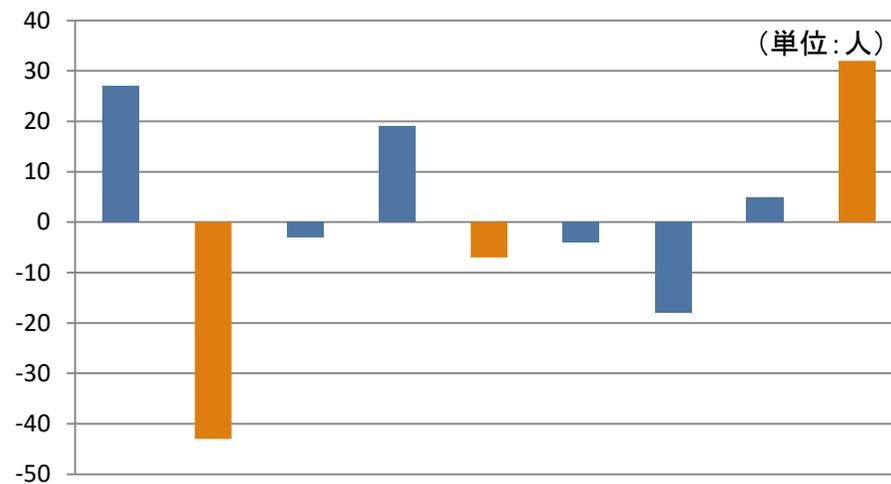
世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	106	182	7	65	27	19	33	3	26	9	55	532
県外	98	245	7	75	26	18	24	3	46	24	75	641
国外	10	12	0	0	6	0	2	1	7	1	2	41
計	214	439	14	140	59	37	59	7	79	34	132	1214

世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	計
県内	19.9	34.2	1.3	12.2	5.1	3.6	6.2	0.6	4.9	1.7	10.3	100.0
県外	15.3	38.2	1.1	11.7	4.1	2.8	3.7	0.5	7.2	3.7	11.7	100.0
国外	24.4	29.3	0.0	0.0	14.6	0.0	4.9	2.4	17.1	2.4	4.9	100.0
計	17.6	36.2	1.2	11.5	4.9	3.0	4.9	0.6	6.5	2.8	10.9	100.0

### (3) 転入超過数と転出超過数

#### ① 全体

- ・ 記入者数ベースでは、全体で18人の転出超過である。
- ・ 転出超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、〔パート・アルバイト〕が続く。
- ・ 転入超過が最も大きいのは、〔無職〕で32人、〔会社員（市内勤務）〕の27人が続く。

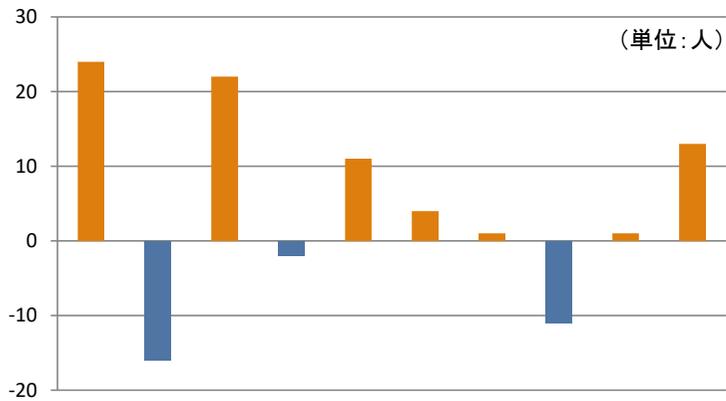


世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計
転入	241	396	11	159	52	33	41	12	111	28	112	1196
転出	214	439	14	140	59	37	59	7	79	34	132	1214
差	27	-43	-3	19	-7	-4	-18	5	32	-6	-20	-18

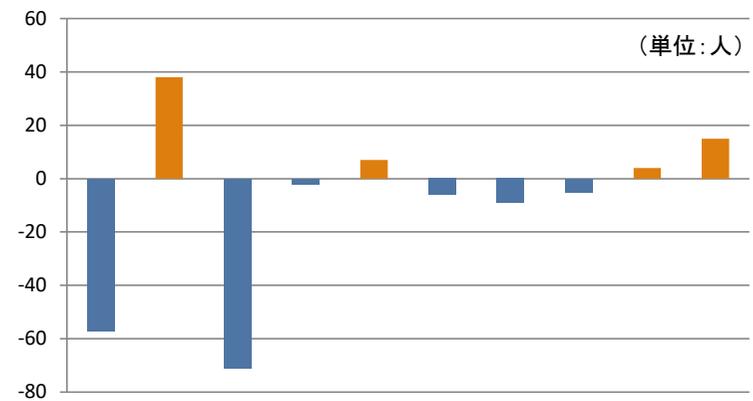
### (3) 転入超過数と転出超過数

#### ② 県内および県外

- ・ 記入者数ベースでは、県内で24人の転入超過、県外で57人の転出超過である。
- ・ 県内で転入超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、〔無職〕、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 県外で転入超過が最も大きいのは、〔会社員（市内勤務）〕で、〔無職〕、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 県内で転出超過が最も大きいのは、〔会社員（市内勤務）〕で、〔パート・アルバイト〕が続く。
- ・ 県外で転出超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、〔派遣・契約社員〕が続く。
- ・ 県内の移動において、市外勤務の会社員が転入超過であるのに対し、市内勤務の会社員が転出超過であることが、特徴的である。



県内	世帯主職業	合計	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明
	転入	556	90	204	5	76	31	20	22	4	39	14	51
	転出	532	106	182	7	65	27	19	33	3	26	9	55
	差	24	-16	22	-2	11	4	1	-11	1	13		



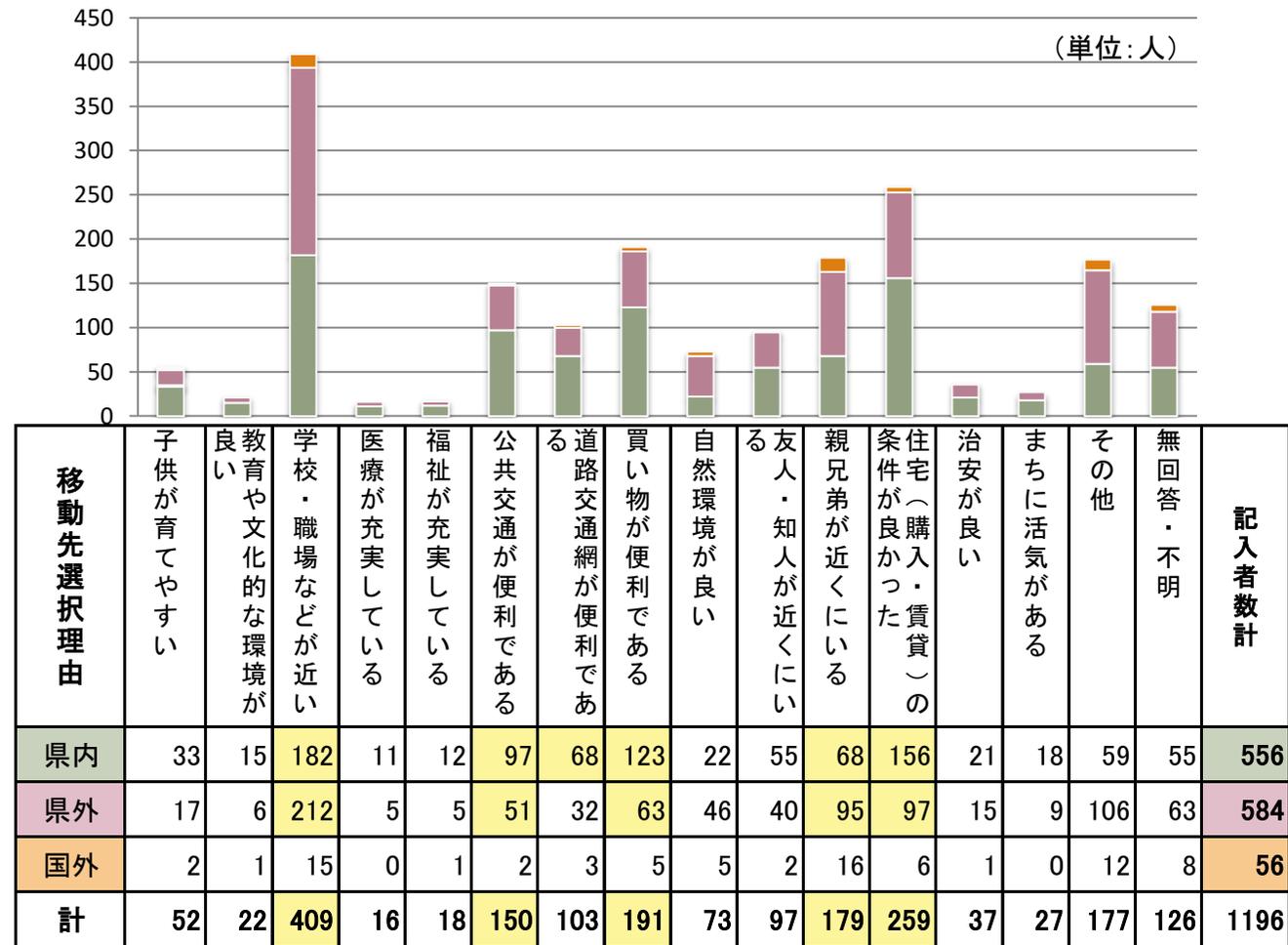
県外	世帯主職業	合計	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明
	転入	584	136	174	5	82	20	9	19	7	61	13	58
	転出	641	98	245	7	75	26	18	24	3	46	24	75
	差	-57	38	-71	-2	7	-6	-9	-5	4	15		

## 9 移動先を選んだ理由（記入者数ベース）

### (1) 転入先を選んだ理由

#### ① 県内・県外・国外別

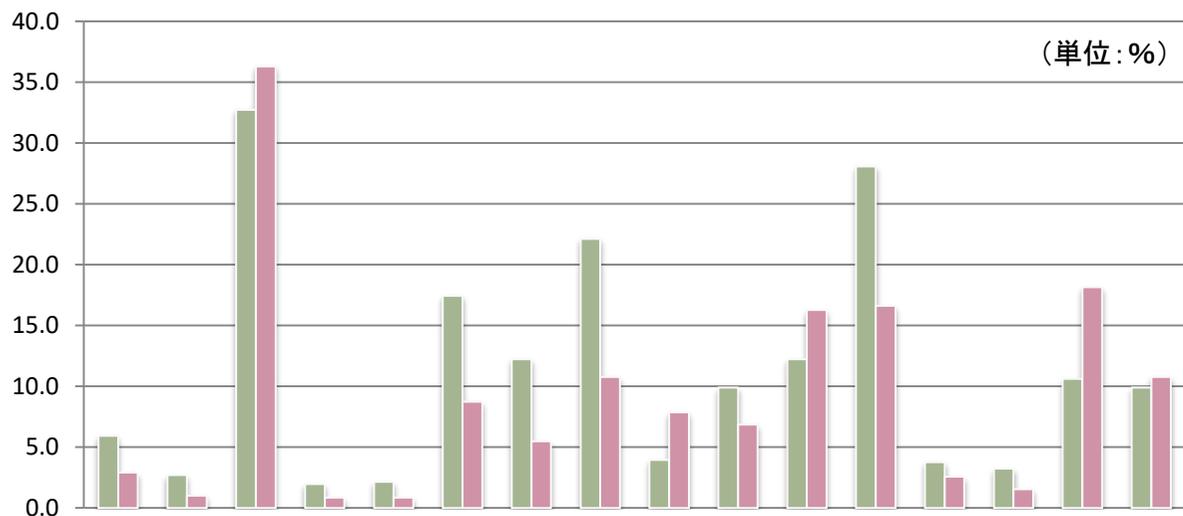
- ・本市を転入先にした理由は、上位から〔学校・職場などが近い〕、〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、〔買い物便利である〕となっている。
- ・県内からの転入者、県外からの転入者ともに、1位は〔学校・職場などが近い〕、2位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕である。
- ・県内からの転入者の3位は〔買物が便利である〕、4位〔公共交通が便利である〕、5位〔親兄弟が近くにいる〕・〔道路交通網が便利である〕である。
- ・県外からの転入者の3位は〔親兄弟が近くにいる〕、4位〔買物が便利である〕、5位〔公共交通が便利である〕である。



(1) 転入先を選んだ理由

② 県内と県外の比較

- ・ 県内からの転入者と、県外からの転入者の本市の選択理由を比較する。
- ・ 県外からの転入者は、県内からの転入者よりも、「学校・職場などの距離」、「親兄弟との距離」、「自然環境」に関することを選択理由とした割合が高い。
- ・ 県内からの転入者は、「公共交通・道路交通網の利便性」、「買物の利便性」、「住宅の条件」など、生活に関することを選択理由とした割合が高い。
- ・ 県外からの転入者は、転職や就職を動機とした移動で、距離を重視した選択をする方が多いと考えられる。
- ・ 県内からの転入者は、結婚や住宅購入を動機とした移動で、比較的時間をかけて移動後の生活を重視した選択をする方が多いと考えられる。

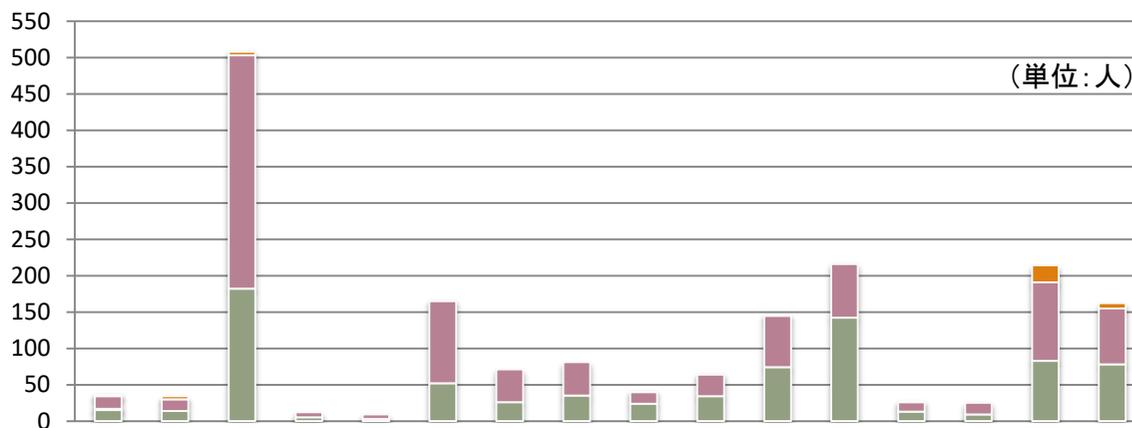


移動先選択理由	子供が育てやすい	良い教育や文化的な環境がある	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいます	親兄弟が近くにいます	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明
県内	5.9	2.7	32.7	2.0	2.2	17.4	12.2	22.1	4.0	9.9	12.2	28.1	3.8	3.2	10.6	9.9
県外	2.9	1.0	36.3	0.9	0.9	8.7	5.5	10.8	7.9	6.8	16.3	16.6	2.6	1.5	18.2	10.8
計	3.6	1.8	26.8	0.0	1.8	3.6	5.4	8.9	8.9	3.6	28.6	10.7	1.8	0.0	21.4	14.3

(2) 転出先を選んだ理由

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出先を選んだ理由は、上位から〔学校・職場などが近い〕が最も多く、〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、〔公共交通が便利である〕となっている。
- ・ 県内への転出者・県外への転出者ともに、1位は〔学校・職場などが近い〕である。
- ・ 県内への転出者の2位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、3位は〔親兄弟が近くにいる〕である。
- ・ 県外への転出者の2位は〔公共交通が便利である〕、3位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕である。

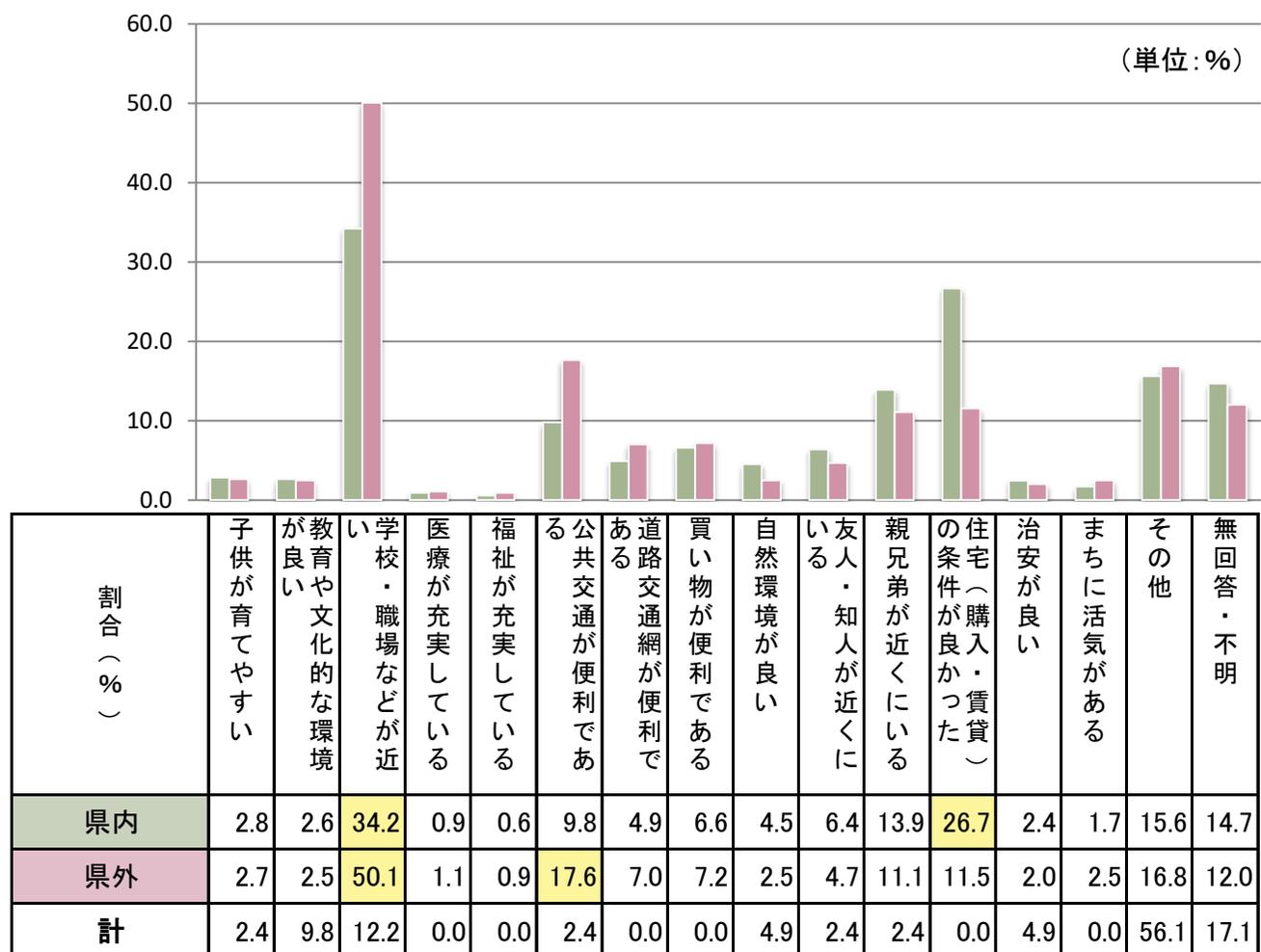


	記入者数(人)	子供が育てやすい	教育や文化的な環境が良い	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物に便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅(購入・賃貸)の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明
県内	532	15	14	182	5	3	52	26	35	24	34	74	142	13	9	83	78
県外	641	17	16	321	7	6	113	45	46	16	30	71	74	13	16	108	77
国外	41	1	4	5	0	0	1	0	0	2	1	1	0	2	0	23	7
計	1214	33	34	508	12	9	166	71	81	42	65	146	216	28	25	214	162

## (2) 転出先を選んだ理由

### ② 県内と県外の比較

- ・ 県内への転出者は、「学校職場などの距離」、「住宅の条件」を重視している。
- ・ 県外への転出者は、「学校・職場などの距離」、「公共交通の利便性」を重視している。
- ・ 県外への転出者は東京圏への移動が多いことから、勤務地や学校へのアクセス重視で転出先を選択していると考えられる。



## 10 自由記述

### ① 転入

安心して生活ができればいいです。
窓口の方が優しく対応して下さりました。ありがとうございます！今後ともよろしくお願い致します！
手続きに時間が掛っているように感じる。システム改善へ期待したい
田宮西近りん公園を早く造って下さい、楽しみにしています。
市内の歩道に段差が多く、自転車に乗りにくいです… 段差をなくしてほしい…。

### ② 転出

スポーツ施設や温泉施設の充実、フリーマーケット等の開催を図ってほしい
2年程住んでいて不満はないです。静かでいいところだと思います。
いつもとてもていねいに接して頂きました。子どもを妊娠してから、そして子どもを持つようになり行政の有難さが身にしみています。とても充実したサービスを受けられました。情報収集が苦手です市役所までたどりつけない人がたくさんいると思います。その人達にもメリットを享受してもらえるように設計してほしいです。
常磐線とT X間のバスの充実、深夜時間帯の営業があればなお。駅からのバスも路線をもっと増やしていただいた方がより住みやすくなると思います。
バスがもっと便利だったら良かった。
マイナンバーカードの発行が土日は月に1回しかないのは少なすぎる。窓口対応などはとてもよかった。
良い街でした。ありがとうございました。
案内もわかりやすく、とてもいいと思います。一人一人の休日をずらして、土日も開けられるようになれば言うことはないのですが。
駅までのバスの本数が増えるといいです。
街灯があまりにも少ない。市役所の総合窓口受付の方、もう少し知識を身につけてください。



# Ⅲ. 調査結果

## (詳細集計)

# 1 近隣市町村間の移動（原因者数ベース）

- ・ 県内市町村間移動上位4市町の移動理由および移動先を選んだ理由を集計。
- ・ 移動理由は、転入転出ともに「結婚」と「住宅購入（新築）」が上位であるが、転入において「生活の利便性」の割合が高い傾向がある。
- ・ 移動先を選んだ理由では、転入転出ともに「学校・職場などが近い」、「住宅（購入・賃貸）の条件が良かった」が上位であるが、転入において、「公共交通、道路交通、買い物便利」といった生活利便性に関する割合が高い傾向がある。
- ・ 「土浦市・龍ヶ崎市・阿見町」からの転入者は、「まちに活気がある」ことを理由に挙げているが、「つくば市」からの転入者はほとんど挙げていない。一方、転出者を見ると、「つくば市」への転出者が、「まちに活気がある」ことを理由に挙げている。

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	移動先選択理由	子供が育てやすい	教育や文化的な環境が良い	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くににいる	親兄弟が近くににいる	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明		
																																					つくば市	土浦市
人数（人）	転入前	つくば市	3	7	10	1	26	6	0	3	0	2	16	7	5	0	5	14	6	12	3	つくば市	6	2	50	3	4	21	11	21	1	9	18	35	2	1	16	11
		土浦市	2	3	2	0	15	6	0	1	0	1	9	4	5	0	6	9	2	7	0	土浦市	7	3	19	3	3	13	7	18	5	9	11	24	4	5	6	7
		龍ヶ崎市	1	1	1	0	14	5	0	1	0	0	8	3	1	1	5	6	3	3	0	龍ヶ崎市	2	2	11	0	0	9	11	10	2	5	8	17	5	3	5	7
		阿見町	1	0	2	0	7	1	0	0	0	0	5	3	0	0	5	7	1	6	3	阿見町	4	0	10	0	0	9	8	11	2	6	4	18	3	2	2	3
転出後	つくば市	4	9	10	1	23	4	0	0	2	32	4	3	5	5	16	4	13	5	つくば市	5	12	49	3	0	19	7	14	9	8	11	47	5	8	17	19		
	土浦市	6	2	5	0	16	4	0	0	0	4	2	3	1	7	7	2	10	0	土浦市	1	0	28	1	1	3	2	6	1	1	9	20	0	0	6	10		
	龍ヶ崎市	0	2	0	1	10	1	0	1	0	0	7	5	7	1	4	3	1	13	4	龍ヶ崎市	1	1	15	0	1	4	2	3	2	4	12	23	1	1	8	11	
	阿見町	0	2	2	0	3	3	0	0	0	0	6	0	0	0	3	1	3	10	0	阿見町	1	0	9	0	0	1	2	2	0	2	2	16	0	0	6	6	
割合（%）	転入前	つくば市	2.4	5.6	7.9	0.8	20.6	4.8	0.0	2.4	0.0	1.6	12.7	5.6	4.0	0.0	4.0	11.1	4.8	9.5	2.4	つくば市	4.8	1.6	39.7	2.4	3.2	16.7	8.7	16.7	0.8	7.1	14.3	27.8	1.6	0.8	12.7	8.7
		土浦市	2.8	4.2	2.8	0.0	20.8	8.3	0.0	1.4	0.0	1.4	12.5	5.6	6.9	0.0	8.3	12.5	2.8	9.7	0.0	土浦市	9.7	4.2	26.4	4.2	4.2	18.1	9.7	25.0	6.9	12.5	15.3	33.3	5.6	6.9	8.3	9.7
		龍ヶ崎市	1.9	1.9	1.9	0.0	26.4	9.4	0.0	1.9	0.0	0.0	15.1	5.7	1.9	1.9	9.4	11.3	5.7	5.7	0.0	龍ヶ崎市	3.8	3.8	20.8	0.0	0.0	17.0	20.8	18.9	3.8	9.4	15.1	32.1	9.4	5.7	9.4	13.2
		阿見町	2.4	0.0	4.9	0.0	17.1	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	12.2	7.3	0.0	0.0	12.2	17.1	2.4	14.6	7.3	阿見町	9.8	0.0	24.4	0.0	0.0	22.0	19.5	26.8	4.9	14.6	9.8	43.9	7.3	4.9	4.9	7.3
	転出後	つくば市	2.9	6.4	7.1	0.7	16.4	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4	22.9	2.9	2.1	3.6	3.6	11.4	2.9	9.3	3.6	つくば市	3.6	8.6	35.0	2.1	0.0	13.6	5.0	10.0	6.4	5.7	7.9	33.6	3.6	5.7	12.1	13.6
		土浦市	8.7	2.9	7.2	0.0	23.2	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	2.9	4.3	1.4	10.1	10.1	2.9	14.5	0.0	土浦市	1.4	0.0	40.6	1.4	1.4	4.3	2.9	8.7	1.4	1.4	13.0	29.0	0.0	0.0	8.7	14.5
		龍ヶ崎市	0.0	3.3	0.0	1.7	16.7	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	11.7	8.3	11.7	1.7	6.7	5.0	1.7	21.7	6.7	龍ヶ崎市	1.7	1.7	25.0	0.0	1.7	6.7	3.3	5.0	3.3	6.7	20.0	38.3	1.7	1.7	13.3	18.3
		阿見町	0.0	6.1	6.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	3.0	9.1	30.3	0.0	阿見町	3.0	0.0	27.3	0.0	0.0	3.0	6.1	6.1	0.0	6.1	6.1	48.5	0.0	0.0	18.2	18.2

※各市町村ごとに、理由上位3つを黄色塗りしている

## 2 就職による県外間移動（原因者数ベース）

### ① 年代、性別ごと

- ・ 就職による県外間移動を年代と性別でみる。
- ・ 全体をみると、女性よりも男性の移動が多く、県外からの転入では69.0%、県外への転出では55.6%を男性が占める。
- ・ 年代別にみると、20歳代に集中している。

移動理由 就職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外から 転入	年代別計(人)	8	86	7	2	0	1	1	5	3	113	
	性別	男性	8	56	6	2	0	1	1	4	0	78
		女性	0	30	1	0	0	0	0	1	0	32
		年齢性別不明										
県外へ 転出	年代別計(人)	15	96	8	0	1	2	0	4	0	126	
	性別	男性	8	52	6	0	1	2	0	1	0	70
		女性	7	44	2	0	0	0	0	3	0	56
		年齢性別不明										

移動理由 就職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外から 転入	年代別計(%)	7.1	76.1	6.2	1.8	0.0	0.9	0.9	4.4	2.7	100.0	
	性別	男性	7.1	49.6	5.3	1.8	0.0	0.9	0.9	3.5	0.0	69.0
		女性	0.0	26.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	28.3
		年齢性別不明										
県外へ 転出	年代別計(%)	11.9	76.2	6.3	0.0	0.8	1.6	0.0	3.2	0.0	100.0	
	性別	男性	6.3	41.3	4.8	0.0	0.8	1.6	0.0	0.8	0.0	55.6
		女性	5.6	34.9	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	44.4
		年齢性別不明										

## ② 転入前の地域、転出後の地域

- ・ 県外からの転入者をみると、男女ともに東京圏が多いが、全国各地からの転入があることが分かる。
- ・ 一方、県外への転出者は男女ともに東京圏に集中しており、特に女性においては、ほとんどが東京圏への転出となっている。

転入前地域 (県外)	男性	東京圏	東北	中部	北海道	北関東※	九州	近畿	中国	四国	計
	人数(人)	35	10	7	7	5	5	4	4	1	78
	女性	東京圏	東北	九州	近畿	中部	北関東※	北海道			計
	人数(人)	10	6	5	4	3	3	1			32
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	中部	北海道	東北	近畿	北関東※	中国	四国	九州	計
	人数(人)	49	10	2	2	2	2	1	1	1	70
	女性	東京圏	東北	中国							計
	人数(人)	54	1	1							56

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	東北	中部	北海道	北関東※	九州	近畿	中国	四国	計
	割合(%)	44.9	12.8	9.0	9.0	6.4	6.4	5.1	5.1	1.3	100.0
	女性	東京圏	東北	九州	近畿	中部	北関東	北海道			計
	割合(%)	31.3	18.8	15.6	12.5	9.4	9.4	3.1			100.0
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	中部	北海道	東北	近畿	北関東	中国	四国	九州	計
	割合(%)	70.0	14.3	2.9	2.9	2.9	2.9	1.4	1.4	1.4	100.0
	女性	東京圏	東北	中国							計
	割合(%)	96.4	1.8	1.8							100.0

### 3 転職による転出（原因者数ベース）

#### ① 年代、性別ごと

- ・ 県内への転出45人に対し、県外への転出は87人であり、県外への転出が2倍近く多い。
- ・ 県内・県外の転出ともに男性の割合が高く、県内への転出では73.3%、県外への転出では64.4%が男性である。
- ・ 年代は20歳代と30歳代に集中している。

移動理由 転職	年代	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢不明	年齢性別不明	合計
		県内へ転出	年代別計(人)	25	9	9	0	1	
性別	男性	16	8	7	0	1	1	0	33
	女性	9	1	2	0	0	0	0	12
	年齢性別不明								0
県外へ転出	年代別計(人)	38	29	10	3	3	2	2	87
性別	男性	24	19	7	2	2	2	0	56
	女性	14	10	3	1	1	0	0	29
	年齢性別不明								0

移動理由 転職	年代	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢不明	年齢性別不明	合計
		県内へ転出	年代別計(%)	55.6	20.0	20.0	0.0	2.2	
性別	男性	35.6	17.8	15.6	0.0	2.2	2.2	0.0	73.3
	女性	20.0	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7
	年齢性別不明								0
県外へ転出	年代別計(%)	43.7	33.3	11.5	3.4	3.4	2.3	2.3	100.0
性別	男性	27.6	21.8	8.0	2.3	2.3	2.3	0.0	64.4
	女性	16.1	11.5	3.4	1.1	1.1	0.0	0.0	33.3
	年齢性別不明								2.3

① 転出後市町村、転出後地域

- ・ 県内への転出先は、男性・女性ともにつくば市の割合が最も高い。
- ・ 県外への転出先は、男性・女性ともに東京圏の割合が最も高く、女性においては9割を超えている。

転出後市町村（県内）	男性	つくば市	日立市	龍ヶ崎市	阿見町	取手市	みらい市	つくば市	稲敷市	水戸市	その他	計
	人数(人)		6	4	2	2	2	2	2	2	2	11
女性		つくば市	水戸市	その他								計
	人数(人)	3	2	7								12
転出後地域（県外）	男性	東京圏※	近畿	中部	東北	北関東※	その他					計
	人数(人)	32	8	7	4	2	3					56
女性		東京圏	中部									計
	人数(人)	27	2									29

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転出後市町村（県内）	男性	つくば市	日立市	龍ヶ崎市	阿見町	取手市	みらい市	つくば市	稲敷市	水戸市	その他	計
	割合(%)		18.2	12.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	33.3
女性		つくば市	水戸市	その他								計
	割合(%)	25.0	16.7	58.3								100.0
転出後地域（県外）	男性	東京圏※	近畿	中部	東北	北関東※	その他					計
	割合(%)	57.1	14.3	12.5	7.1	3.6	5.4					100.0
女性		東京圏	中部									計
	割合(%)	93.1	6.9									100.0

#### 4 結婚による移動（原因者数ベース）

##### (1) 県内間移動

###### ① 年代、性別ごと

- ・ 県内からの転入110人に対し、県内への転出は98人であり、結婚による県内間移動では転入超過である。
- ・ 男性よりも女性の移動のほうが多く、県内からの転入では57.3%、県内への転出では59.2%を女性が占める。
- ・ 年代は、20歳代から30歳代に集中している。

移動理由 結婚	年代	10歳 以下	20歳 以下	30歳 以下	40歳 以下	50歳 以下	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳				
県内 から 転入	年代別計(人)	2	50	45	6	4	1	2	110	
	性別	男性	1	19	18	4	3	0	0	45
		女性	1	31	27	2	1	1	0	63
		年齢性別不明								2
県内 へ 転出	年代別計(人)	1	49	36	7	2	3	0	98	
	性別	男性	1	18	14	5	0	2	0	40
		女性	0	31	22	2	2	1	0	58
		年齢性別不明								0

移動理由 結婚	年代	10歳 以下	20歳 以下	30歳 以下	40歳 以下	50歳 以下	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳				
県内 から 転入	年代別計(%)	1.8	45.5	40.9	5.5	3.6	0.9	1.8	100.0	
	性別	男性	0.9	17.3	16.4	3.6	2.7	0.0	0.0	40.9
		女性	0.9	28.2	24.5	1.8	0.9	0.9	0.0	57.3
		年齢性別不明								1.8
県内 へ 転出	年代別計(%)	1.0	50.0	36.7	7.1	2.0	3.1	0.0	100.0	
	性別	男性	1.0	18.4	14.3	5.1	0.0	2.0	0.0	40.8
		女性	0.0	31.6	22.4	2.0	2.0	1.0	0.0	59.2
		年齢性別不明								0.0

(1) 県内間移動

② 県内、転入前市町村、転出後市町村

- ・ 県内市町村間の結婚による移動は、転入・転出ともにつくば市が最も多く、龍ヶ崎市や土浦市など、近隣市町村が多い。

転入前市町村（県内）	男性	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	阿見町	稲敷市	常総市	取手市	守谷市	その他	計
	人数(人)	12	9	5	2	3	2	2	2	8	45
	女性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	水戸市	取手市	阿見町	石岡市	稲敷市	その他	計
	人数(人)	14	10	5	4	4	4	3	3	16	63
転出後市町村（県内）	男性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	みつくば市	水戸市	取手市	稲敷市	その他		計
	人数(人)	12	6	5	4	3	3	2	5		40
	女性	つくば市	土浦市	取手市	龍ヶ崎市	美浦村	阿見町	その他			計
	人数(人)	11	10	9	5	3	3	17			58

転入前市町村（県内）	男性	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	阿見町	稲敷市	常総市	取手市	守谷市	その他	計
	割合(%)	26.7	20.0	11.1	4.4	6.7	4.4	4.4	4.4	17.8	100.0
	女性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	水戸市	取手市	阿見町	石岡市	稲敷市	その他	計
	割合(%)	22.2	15.9	7.9	6.3	6.3	6.3	4.8	4.8	25.4	100.0
転出後市町村（県内）	男性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	みつくば市	水戸市	取手市	稲敷市	その他		計
	割合(%)	30.0	15.0	12.5	10.0	7.5	7.5	5.0	12.5		100.0
	女性	つくば市	土浦市	取手市	龍ヶ崎市	美浦村	阿見町	その他			計
	割合(%)	19.0	17.2	15.5	8.6	5.2	5.2	29.3			100.0

(2) 県外間移動

① 年代、性別ごと

- ・ 県内からの転入41人に対し、県内への転出は74人であり、結婚による県外間移動では転出超過である。
- ・ 男性よりも女性の移動のほうが多く、県外からの転入では78.0%、県外への転出では73.0%を女性が占める。
- ・ 年代は、20歳代から30歳代に集中しており、特に20歳代女性の割合が高い。

移動理由 結婚	年代	10歳 〜 19歳	20歳 〜 29歳	30歳 〜 39歳	40歳 〜 49歳	50歳 〜 59歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
		県外から 転入	年代別計(人)	0	20	11	7	0		1
性別	男性	0	4	1	1	1	0	0	7	
	女性	0	16	10	3	2	1	0	32	
	年齢性別不明								2	
県外へ 転出	年代別計(人)	0	43	27	3	1	0	0	74	
	性別	男性	0	10	6	3	1	0	0	20
		女性	0	33	21	0	0	0	0	54
		年齢性別不明								0

移動理由 結婚	年代	10歳 〜 19歳	20歳 〜 29歳	30歳 〜 39歳	40歳 〜 49歳	50歳 〜 59歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
		県外から 転入	年代別計(%)	0.0	48.8	26.8	17.1	0.0		2.4
性別	男性	0.0	9.8	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	17.1	
	女性	0.0	39.0	24.4	7.3	4.9	2.4	0.0	78.0	
	年齢性別不明								4.9	
県外へ 転出	年代別計(%)	0.0	58.1	36.5	4.1	1.4	0.0	0.0	100.0	
	性別	男性	0.0	13.5	8.1	4.1	1.4	0.0	0.0	27.0
		女性	0.0	44.6	28.4	0.0	0.0	0.0	0.0	73.0
		年齢性別不明								0.0

(2) 県外間移動

② 県内、転入前市町村、転出後市町村

- ・ 県外間の結婚による移動は、転入・転出ともにつくば市が最も多く、龍ヶ崎市や土浦市など、近隣市町村が多い。
- ・ 転入・転出ともに東京圏の割合が高いが、特に転出において、男女ともに東京圏が9割近くを占めている。

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	北関東※	東北				計
	人数(人)	4	2	1				7
	女性	東京圏	東北	九州	近畿	北海道	中部	計
人数(人)	23	3	2	1	1	1	31	
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	東北	近畿				計
	人数(人)	18	1	1				20
	女性	東京圏	北関東	中部	東北	近畿	中国	計
人数(人)	47	2	2	1	1	1	54	

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	北関東※	東北				計
	割合(%)	57.1	28.6	14.3				100.0
	女性	東京圏	東北	九州	近畿	北海道	中部	計
割合(%)	74.2	9.7	6.5	3.2	3.2	3.2	100.0	
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	東北	近畿				計
	割合(%)	90.0	5.0	5.0				100.0
	女性	東京圏	北関東	中部	東北	近畿	中国	計
割合(%)	87.0	3.7	3.7	1.9	1.9	1.9	100.0	

## 5 住宅購入による県内間移動（原因者数ベース）

- 住宅購入による県内間移動の状況を見ると、近隣市町間の転入・転出の割合が高い。
- 新築・中古別にみると、転出よりも転入において、中古住宅購入の割合が高い。

県内から転入	市町村	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	水戸市	稲敷市	その他	計
	住宅購入	23	13	11	8	6	4	18	83
	うち新築	16	9	8	5	3	3	11	55
	うち中古	7	4	3	3	3	1	7	28

県内から転入	市町村	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	水戸市	稲敷市	その他	計
	住宅購入	27.7	15.7	13.3	9.6	7.2	4.8	21.7	100.0
	うち新築	19.3	10.8	9.6	6.0	3.6	3.6	13.3	66.3
	うち中古	8.4	4.8	3.6	3.6	3.6	1.2	8.4	33.7

県内へ転出	市町村	つくば市	龍ヶ崎市	阿見町	土浦市	取手市	稲敷市	その他	計
	住宅購入	36	12	6	6	4	3	14	81
	うち新築	32	7	6	4	4	2	12	67
	うち中古	4	5	0	2	0	1	2	14

県内へ転出	市町村	つくば市	龍ヶ崎市	阿見町	土浦市	取手市	稲敷市	その他	計
	住宅購入	44.4	14.8	7.4	7.4	4.9	3.7	17.3	100.0
	うち新築	39.5	8.6	7.4	4.9	4.9	2.5	14.8	82.7
	うち中古	4.9	6.2	0.0	2.5	0.0	1.2	2.5	17.3

## 6 中古住宅購入による転入（原因者数ベース）

- ・年代をみると、60歳代が最も多いが、幅広い年代の転入がある。
- ・世帯主の職業は〔市外勤務の会社員〕が最も多く、〔無職〕が続く。
- ・転入する地区をみると、〔ひたち野東〕〔ひたち野西〕が多いが、旧市街地への転入も多く、中古住宅が広い地域で購入されていることが分かる。

転入後の家族構成	合計 (人)	年齢不明						
		20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢不明
合計	38	2	7	6	5	12	2	4
一人暮らし	11	0	1	1	4	4	0	1
親と独身の子が同居	1	0	0	0	0	0	0	1
夫婦が同居	10	1	1	1	1	3	2	1
夫婦と子どもが同居	7	1	4	1	0	1	0	0
ひとり親と子どもが同居	2	0	0	0	0	1	0	1
親と子ども夫婦、孫が同居	0	0	0	0	0	0	0	0
親と独身の子、孫が同居	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	1	0	0	0	0
無回答・不明	6	0	1	2	0	3	0	0

世帯主の職業	合計 (人)	年齢不明						
		20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢不明
合計	38	2	7	6	5	12	2	4
会社員(市内勤務)	2	0	1	0	1	0	0	0
会社員(市外勤務)	13	1	4	3	1	2	1	1
会社役員	2	0	0	0	1	1	0	0
公務員・団体職員	2	0	1	0	0	0	0	1
自営業	1	0	0	0	1	0	0	0
派遣・契約社員	1	0	0	0	0	0	0	1
パート・アルバイト	1	0	0	0	0	1	0	0
主婦	0	0	0	0	0	0	0	0
無職	11	1	0	1	1	6	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答・不明	5	0	1	2	0	2	0	0

転入する地区	合計 (人)	年齢不明						
		20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢不明
合計	38	2	7	6	5	12	2	4
牛久町	3	0	0	1	0	1	0	1
刈谷町	3	0	0	1	0	2	0	0
田宮町	2	0	1	0	0	1	0	0
岡見町	1	0	0	0	0	1	0	0
ひたち野西	6	0	1	1	1	1	1	1
ひたち野東	4	0	1	1	1	1	0	0
上柏田	2	0	1	0	1	0	0	0
栄町	2	0	2	0	0	0	0	0
中央	1	0	0	0	1	0	0	0
南	2	1	0	0	0	1	0	0
神谷	3	0	0	0	0	1	0	2
さくら台	2	0	0	0	0	1	1	0
女化町	1	1	0	0	0	0	0	0
小坂町	1	0	0	0	1	0	0	0
無回答・不明	5	0	1	2	0	2	0	0

## 7 親との同居・近居による転入（原因者数ベース）

### (1) 転入理由（親との同居・近居）

- ・ 親との同居・近居による転入者の年代をみると、20歳代の割合が最も高い。
- ・ 移動後の世帯構成をみると、「親と独身の子が同居」の割合が最も高い。
- ・ 転入地区を転入者全体と比較すると、新市街地への転入の割合が低く、旧市街地への転入の割合が高いことが分かる。

年代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	年齢 不明	合計
人数(人)	2	5	17	10	6	6	0	1	1	4	52
割合(%)	3.8	9.6	32.7	19.2	11.5	11.5	0.0	1.9	1.9	7.7	100.0

移動後の世帯構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	子どもが親とひとり親と	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	4	23	3	5	2	5	1	5	4	52
割合(%)	7.7	44.2	5.8	9.6	3.8	9.6	1.9	9.6	7.7	100.0

転入地区		牛久町	刈谷町	田宮町	田宮	岡見町	ひたち野西	ひたち野東	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	小坂町	福田町	奥原町	無回答・不明	合計	
		同居+近居	人数(人)	7	2	4	4	1	3	4	2	2	4	1	6	5	1	1	1	1	1
	割合(%)	13.5	3.8	7.7	7.7	1.9	5.8	7.7	3.8	3.8	7.7	1.9	11.5	9.6	1.9	1.9	1.9	1.9	5.8	100.0	
転入者全体※	人数(人)	90	45	61	44	11	153	164	29	75	51	57	90	66	46	14	1	6	107	1110	
	割合(%)	7.5	3.8	5.1	3.7	0.9	12.8	13.7	2.4	6.3	4.3	4.8	7.5	5.5	3.8	1.2	0.1	0.5	8.9	92.8	

※各地区に転入した原因者数/アンケート回答数(転入者分)×100、「同居」または「近居」と回答のあった地区のみを抽出しており、合計は100%とならない

## (2) 転入先選択理由（親兄弟が近くにいる）

- ・牛久市に転入した理由（単一回答）として〔親と同居・近居〕と回答した人数は52人で、転入者全体の4.3%。
- ・転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）として〔親兄弟が近くにいる〕ことと回答した人数は179人で、転入者全体の15.0%。
- ・〔親兄弟が近くにいる〕と回答した179人の転入した理由（単一回答）をみると、〔親との同居〕の他、〔結婚〕や〔帰郷〕、〔住宅の購入（新築）〕〔転職（転業）〕が上位にある。
- ・例えば結婚を機に親との同居や近居をした場合、結婚が主たる転入理由となり、単一回答の設問では、「親との同居・近居」が選択されなかったケース等があり、実際に親との同居・近居となった転入者は52人（4.3%）よりも多いと考えられる。

### ●牛久市に転入した理由（単一回答）

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	169	95	237	28	151	38	2	25	6	33	69	38	41	11	42	71	17	97	26	1196
割合(%)	14.1	7.9	19.8	2.3	12.6	3.2	0.2	2.1	0.5	2.8	5.8	3.2	3.4	0.9	3.5	5.9	1.4	8.1	2.2	100.0

### ●「親兄弟が近くにいる」と回答した人の転入した理由（単一回答）

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	5	16	13	14	26	10	0	1	1	17	16	5	24	8	2	5	0	11	5	179
割合(%)	2.8	8.9	7.3	7.8	14.5	5.6	0.0	0.6	0.6	9.5	8.9	2.8	13.4	4.5	1.1	2.8	0.0	6.1	2.8	100.0

### ●転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）

移動先選択理由	子供が育てやすい	が教育や文化的な環境	い学校・職場などが近	医療が充実している	福祉が充実している	る公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くに	親兄弟が近くにいる	の住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	52	22	409	16	18	150	103	191	73	97	179	259	37	27	177	126	1196
割合(%)	4.3	1.8	34.2	1.3	1.5	12.5	8.6	16.0	6.1	8.1	15.0	21.7	3.1	2.3	14.8	10.5	※

※複数回答であり、合計は100%とはならない